

令和5年度事業報告書・決算書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

公益財団法人福島県観光物産交流協会

令和5年度事業報告

I 事業概要

令和5年度は、国内外からの観光客の誘致促進、福島県産品の開発支援や販路の拡大及び観光・物産関係施設の管理運営を行うなど、観光・物産振興の総合的・一体的な展開を図りながら、県や市町村、関係団体と連携して各種事業を積極的に実施し、県内観光と県産品の振興に努めた。

観光振興事業については、コロナ収束後の本格的な観光再始動の動向を見据え、本県全域を対象とする地域連携DMOとして各観光関係団体等と連携し、地域が主体となった観光地域づくりを推進するとともに、関連が深い国内誘客事業と海外誘客事業、ホープツーリズムと教育旅行の各業務の連携強化を図りながら、効果的な事業展開に努めた。

国内誘客の推進については、公式ホームページやSNSの運営、季刊観光情報誌の発行、各種イベントへの出展等による情報発信を行うとともに、専門家の派遣による地域の観光コンテンツのブラッシュアップやマイクロツーリズム、デジタルマーケティングの手法を取り入れたデータ分析やプロモーションの実施等、様々な観点から観光振興に取り組んだ。

海外誘客については、台湾やタイなどアジア圏の観光客を中心に訪日旅行再開の動きが加速する中、受入環境やコンテンツの整備を始め、ターゲットとなる国々に対する効果的なプロモーションを実施したほか、当協会の英語サイト「Fukushima Travel」やSNSによる情報発信に取り組んだ。

また、台湾からのツアー造成や国際教育旅行誘致のため、現地において商談会への参加や学校訪問を実施したほか、海外のエージェントに対し、旅行商品造成の支援を行った。

ホープツーリズムについては、拡大する需要に対応するため、令和5年5月に浜通りにサポートセンターを開所し、教育旅行や企業、団体等による人材育成研修を中心として、協会受注ツアーの催行や他の旅行会社からの受注手配（ランドオペレーター）等に適切に対応するとともに、新たなコンテンツの開拓、ツアーの進行役であるフィールドパートナーの確保・育成、企業研修プログラムの造成等により内容の充実を図った。

協会受注ツアーにランドオペレーター業務を加えたホープツーリズム全体では、396件、16,476名の参加実績となり、前年度比で件数は約1.24倍となった。

また、一般観光客を対象とした募集商品の造成やwebを活用した情報発信等、新たな展開にも取り組んだ。

教育旅行については、前年度はオンラインで実施した旅行会社を対象とした誘致キャラバンを実際の訪問で実施するとともに、県外における教育旅行誘致セミナー、商談会、ツーリズムEXPOジャパンへ参加し、教育旅行の誘致促進に努めた。

また、只見線沿線エリアの教育旅行コンテンツの造成やSDGs探究プログラムを組み込んだモニターツアーの実施など本県教育旅行の魅力発信に努めたほか、県内各地域が広域で取り組むスポーツ・文化合宿の誘致の取組支援やスポーツツーリズムEXPOへの出展などにより本県への誘致促進に努めた。

県産品振興事業については、福島県観光物産館及び日本橋ふくしま館を核として、来館者に県産品の魅力発信と販売促進を図ったほか、流通業者や消費者からの情報を事業者・生産者へフィードバックすることにより、競争力の高い商品開発と効果的な販路開拓を支援した。

また、BtoB型（企業間取引）卸売事業の取引拡大や、BtoC型（小売販売）オンラインストア「ふくふくマルシェ」の運営を通し、県産品の販売促進、販路拡大を図った。

福島県観光物産館においては、新商品や季節商品、話題性のある商品の展示・販売、ふくしまラウンジメニューの充実、切れ目のない飲食の提供等により、新たな客層の開拓や利用者の満足度を高めるような取組を行った。

また、サクランボ、桃、ぶどう、梨、りんご、あんぼ柿に代表される果物の販売を強化するとともに、生産者がその出荷の季節に限定されず年間を通して販売ができるよう、果物を使った加工品開発の助言を行い、物産館でのテスト販売、継続販売につなげることができた。さらに、年間を通じた常磐ものの海産物販売に努めた結果、売上額は906百万円（税抜）と過去最高となった。

日本橋ふくしま館においては、切れ目のない催事によるにぎわい創出や旬の商品、話題性のある商品など魅力ある県産品の品揃えの充実を図るとともに、積極的な外販対応の実施により、売上額は427百万円（税抜）と過去最高となった。経営改善計画に基づく取組や効率的な運営に向けた「新アクションプラン」の策定など、適切な店舗運営に努めるとともに、首都圏において、優れた県産品の魅力を始め、本県の観光情報、定住・二地域居住情報、復興へ向かう「ふくしまの今」を総合的・継続的に発信し、県産品の風評払拭と販路拡大、観光誘客を図った。

外販については、ふくしま応援企業ネットワークを始め、様々な企業・団体、行政機関等へ積極的に働きかけを行うとともに、経済産業省「魅力発見！三陸・常磐ものネットワーク」とも連携を密にし、企業・大学、オフィスビル、福島県・首都圏自治体主催イベントに出展するなど新規外販先の開拓を図った。

県産品流通促進事業については、物産展事業では、東北各県や全国の観光物産協会等との連携のもと、全国主要都市の百貨店等において観光物産展や催事を実施し、本県の優れた県産品のPR及び販路拡大とともに観光客の誘致促進を図った。

卸売事業では、県外を中心に福島の酒等県産品の営業活動を積極的に行い、販売促進を図ったことにより、卸売額は107百万円（税抜）となり、前年度に比べ12%の増となった。

施設管理運営事業については、県と連携・協力し、休業中のくろがね小屋について円滑な工事の進捗を図るとともに、天鏡閣・迎賓館の適切な管理運営を行った。

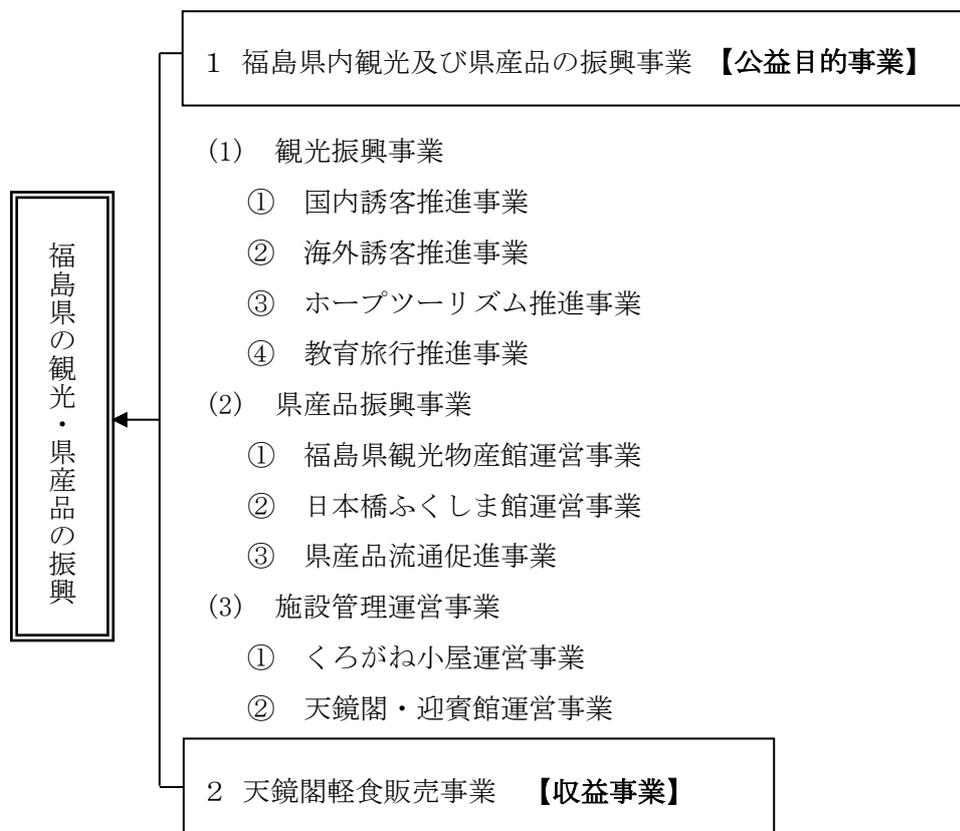
くろがね小屋運営事業は、令和5年4月より小屋の営業を休止し、県との連携のもと工事の進捗状況などに関する情報発信や、工事業者からの委託による登山道のパトロールなどを行った。

また、催事での「くろがね小屋カレー」の提供、オリジナルポストカードの作成・販売により、休止期間中の認知度の維持とPRを図った。

天鏡閣・迎賓館運営事業については、季節に合わせた各種イベントを開催するとともに、スタンドグラスや水彩画などの美術作品の展示会等により施設の活用と誘客促進を図った。

また、団体客誘客のため、観光部と連携し教育旅行誘致キャラバンへの参加、旅行会社への訪問等を行った結果、来館者数は前年度に比べ17%増加した。

II 事業体系



III 事業実績

1 福島県内観光及び県産品の振興事業【公益目的事業】

(1) 観光振興事業

令和5年度においては、コロナ収束後の本格的な観光再始動の動向を見据え、本県全域を対象とする地域連携DMOとして各観光関係団体等と連携し、国内誘客、海外誘客、ホープツーリズム、教育旅行の4つの柱により事業を展開するとともに、地域が主体となった観光地域づくりを推進した。

① 国内誘客推進事業

ア 観光地域づくり総合推進事業

外的要因に大きく左右されない、安定的で継続的な国内観光需要を獲得するため、地域が主体となった観光コンテンツの磨き上げや、マイクロツーリズムの要素を取り入れた域内観光モデルの創出を行った。

(ア) 観光コンテンツブラッシュアップ支援事業

地域の観光事業者等を対象として選定した6箇所の支援対象団体に対し、観光コンテンツの造成やプロモーションに精通した専門家を派遣し、地域事業者とのワークショップ開催、課題の抽出やターゲットの明確化、モニターツアーによる検証、商談会でのPR等を行い、地域が主体となったコンテンツの磨き上げや掘り起こしをサポートした。

【コンテンツ支援】

対象地域	申請団体	テーマ	主な実施内容
福島市 (飯坂温泉)	飯坂温泉観光協会	街歩きの仕組みづくりと商品造成を目的とした「下駄の鳴る町プロジェクト」の実施	<ul style="list-style-type: none"> 観光町づくりセミナー開催 賑わい創出のための仕掛け作り 街歩き地図の作成、お土産箱「湯桶」+「オリジナル風呂敷」の仕組みの造成、まちあるき協賛店用下駄アイコンの作成 宿泊パッケージ試験販売の実施 令和5年12月9日 参加者12名
会津地方	一般財団法人会津若松観光ビューロー	漆やからむし織など会津の伝統工芸を活用した「会津ものづくりツーリズム」の実施	<ul style="list-style-type: none"> 各工芸のコンテンツの掘り起こし、キーパーソンの掘り起こし（昭和村・からむし）を目的とした取り組みの実施勉強会の実施 3回 令和5年9月14日～15日、 令和5年10月4日～5日、 令和5年11月7日 ワークショップの開催 5回
郡山市 (湖南地区)	一般社団法人郡山市観光協会	着地型年間体験プログラム「はじまりの葡萄プロジェクト」の造成とプロモーションの実施	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト周知活動 PRを目的としたワインイベントへの参加 ふくしまフードフェス 令和5年8月19日～20日 ワイン・ヴァン・ヴィーノ フクシマ 令和5年9月24日 体験コンテンツの試験販売 ひし茶焙煎体験、収穫体験の試験販売 令和5年9月23日 参加者6名 本気で楽しむ畑作業体験 令和5年10月9日 参加者8人 収穫体験（昼の部）、栽培家と語るワイン会（夜の部） 令和5年10月14日 参加者 昼6名/夜8名 プロジェクト周知イベントの開催 はじまりの葡萄プロジェクト交流会「KONAN はじまりの場」開催



			令和6年1月12日～13日 ・湖南産ワインの販売
田村市	田村市高原 観光プロジ ェクト	地域の体験コン テンツを集めた 里山あそび体験 博「キャンぱく」 の開催	・「キャンぱく」の開催 令和5年10月1日～11月18日 体験コンテンツ数 20件 参加者（販売）数 142名
柳津町	柳津観光協 会	只見川流域及び 柳津町における 「食・手しごと・ くらし」など生 活文化の体験と 高付加価値コン テンツの掘り起 こし	・地域資源掘り起こしのための勉強 会 令和5年8月3日 ・首都圏知的富裕層対象「柳津町縄文魅 力発見モニターツアー」の実施 令和6年1月20日～21日 参加者 10名
三春町	特定非営利 活動法人ま ごっせ郡山	「三春集客ビジ ネスオーディシ ョン」によるコ ンテンツの企画 募集と造成	・三春町内の集客・交流を促進し、観光 資源をいかした新しいビジネスや担 い手の発掘を目的とした「三春集客ビ ジネスオーディション2023」を開催 令和5年8月22日～9月30日 ・「三春集客ビジネスオーディション 2023」で発掘した三春町のコンテンツ への磨き上げ支援 週末ふれあい動物園の開催 令和5年12月9日～10日 三春コスプレ実証モニター体験実施 令和5年12月16日

【その他事業結果】

- 奥会津観光マーケティング調査（令和5年9月中旬～令和6年2月末）
令和4年度（金山町）、令和5年度（会津地方、柳津町）と採択している奥会津地
域において、観光需要に関する基本情報を収集するためのマーケティング調査を実
施した。
調査エリア：柳津町、三島町、金山町、昭和村、只見町、南会津町、檜枝岐村
調査方法：エリア内の旅館、飲食店、観光施設等でアンケートを実施
調査項目：旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率、来訪目的、同行者数、交
通手段、来訪の前後の立ち寄り状況、宿泊・日帰りの旅行形態、属性
（性別、年齢層、居住地等）等
調査結果：今回の分析で見えてきた『奥会津の良いお客様』像ターゲット仮説
「関東からの宿泊型ハードリピーター（4回以上再訪者）」

○ 追跡調査

令和3～4年度に採択した団体を対象としたフォローアップ調査を実施した。

調査団体

- ・一般社団法人郡山市観光協会
- ・いわき市商工会議所（一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー）
- ・松川浦ガイドの会（相馬市観光協会）
- ・会津リバティ協議会
- ・一般社団法人岳温泉観光協会
- ・田村市高原観光プロジェクト
- ・一般社団法人金山町観光物産協会
- ・たまかわ未来ファクトリー株式会社

○ 令和3年度以降に採択したコンテンツの事例報告会の開催

令和3年度より3カ年計画で実施してきた観光コンテンツブラッシュアップ支援事業の総括として、成果のあった4地域からの発表を中心とした報告会を実施した。

令和5年度福島県観光コンテンツブラッシュアップ支援事業報告会

日時：令和6年3月1日 13:30～15:00

場所：ウエディングエルティ

参加者：110名、発表団体：4団体

- ・田村市：田村市高原観光プロジェクト「たむら里山あそび体験博 キャンぱく」
- ・相馬市：松川浦ガイドの会（相馬市観光協会）「復活の浜焼き」
- ・飯坂温泉：飯坂温泉観光協会 「下駄のなる街プロジェクト」
- ・金山町：一般社団法人 金山町観光物産協会 「霧幻峡水上の贅沢朝時間」



事業報告会の様子

(イ) 域内モデル創出事業

選定した対象地域2箇所において、同エリア内の観光事業者等と連携し、スポットの掘り起こし、モデルコースの造成等を行った。

対象地域	申請団体	モデルコース・スポットの概要
北塩原村、 磐梯町、 猪苗代町	裏磐梯観光協会 (連携先：磐梯町観光協会、猪苗代観光協会)	毘沙門沼、土津神社、榮川酒造 試飲販売所「ゆっ蔵」、猪苗代ハーブ園、猪苗代湖サイクリング、天鏡閣 等
郡山市、 三春町、 田村市	一般社団法人郡山市観光協会 (連携先：三春町、田村市)	大安場史跡公園、高屋敷稻荷神社、仁井田本家、三春街中紅葉巡り散策、三春ダム展望台・資料館、行司ヶ滝、あぶくま洞 等

- 設定したモデルルートを検証するためモニターツアーを実施した。

- ・北塩原村、磐梯町、猪苗代町モニターツアー
令和5年9月20日～21日 一泊二日コース
令和5年9月22日 日帰りコース
- ・郡山市、三春町、田村市モニターツアー
令和5年11月27日～28日 一泊二日コース
令和5年11月24日 日帰りコース



モニターツアー(北塩原村)

- モデルルートのPR動画作成、スポット写真の撮影等を行い、「あしたの散歩帖」公式サイト及びインスタグラムに掲載して情報発信を行った。

- ・北塩原村・磐梯町・猪苗代町エリア 12スポット 1ルート設定
- ・郡山市・三春町・田村市エリア 10スポット 1ルート設定

※ インスタグラム「あしたの散歩帖」フォロワー数1,718名 投稿回数94回

- 前年度に本事業でモデルコースの造成等を行った埴町、国見町、桑折町、飯坂温泉において、10月20～12月7日の期間にインスタグラムによる動画・フォト投稿キャンペーンを実施した。

- ・国見町・桑折町・飯坂温泉エリア
実施期間：令和5年10月20日～12月7日
応募資格：福島県、宮城県、山形県在住者
応募総数：216件（3地域合計）
- ・埴町エリア
実施期間：令和5年10月20日～12月7日
応募資格：福島県、茨城県、栃木県在住者
応募総数：64件



イ 観光デジタルプロモーション強化事業

(ア) ふくしまDMPの管理運営

新たな福島県の魅力訴求に向け、プロモーション結果や福島県主力HP、宿泊動向、SNS データを一元的に閲覧できるよう構築された「ふくしまDMP」を管理運用し、GoogleAnalytics4のデータを見やすくする改修を行った。

(イ) デジタルプロモーションの実施

協会職員がふくしまDMPを活用して計12回のデジタルプロモーションを実施した。具体的には専門家の伴走支援を受けながら広告を配信し、協会公式サイト「ふくしまの旅」への誘導を図った。広告配信に当たってはふくしまDMPを活用し、観光予報プラットフォームや過去に実施したプロモーションの分析によるターゲットの明確化、キーワード検索トレンドを元にした配信テーマの決定等を行った。

(ウ) 「ふくしまの旅」ウェブサイト改修

ユーザビリティ専門家による診断をもとに、サイトの機能面を改修し、利用者にとって有益で情報が探しやすいサイトへ改善した。

(エ) 福島県観光デジタルマーケティング研修会の開催

地域の観光団体を3団体選定の上、これらの団体がデジタルマーケティングのノウハウを習得し、地域主体で情報発信戦略の立案、実施、効果検証を行うための体制づくりを目的とした研修会を各団体6回開催した。

また、研修会内で実践のための広告配信を各エリア（会津地方、中通り、浜通り）1回ずつ実施した。

選定した団体

- ① 極上の会津プロジェクト協議会
- ② (一社) 福島市観光コンベンション協会
- ③ 相馬市観光協会



研修会の様子

ウ 「福が満開、福のしま。」 福島県観光情報総合発信事業

県内の市町村、観光団体等と連携し、観光に関する各種お知らせ、季節に応じたイベントやお祭り、桜、山開き、紅葉等の情報を取りまとめ、ホームページ「ふくしまの旅」や各種SNSによる情報発信を行うとともに、季刊観光情報誌「ふくしまほんものの旅」を発行した。また、本県観光PRのため首都圏における各種イベント等に出展した。

- ・ホームページ「ふくしまの旅」
延べビュー数 18,356,518pv（前年同期 12,820,434pv）
- ・登山者向けサイト「やまふく」
延べビュー数 383,560pv（前年同期 358,671pv）
- ・福島県観光サイト「ふくしまワーケーション」
延べビュー数 6,547pv（前年同期 5,026pv）
- ・X（旧 Twitter）
フォロワー 25,260名（令和5年度末時点）
※ フォロワー数が前年度末時点から約1.3倍の増となった。
- ・Instagram（インスタグラム） 投稿回数75回
フォロワー 8,464名（令和5年度末時点）
※ フォロワー数が前年度末時点から約1.3倍の増となった。
- ・「ふくしまほんものの旅」の発行
秋・冬号（8月）6万6千部、JR版 3万5千部
春・夏号（2月）8万6千部、JR版 5万6千部
- ・イベント出展2回
夏の旅観光展 IN 大宮駅
令和5年7月27日～29日 JR大宮駅
浜フェス2023
令和5年10月21日～22日 六本木ヒルズ
- ・東北六県物産あつ旋機関連絡協議会、東北ブロック
定例記者会見の参加4回
令和5年5月22日,8月22日,11月28日,令和6年2月27日
- ・AZLM TOBU 池袋店（JR池袋駅構内）展示
観光・物産展示コーナーを活用した周知 令和5年11月1日～28日



夏の旅観光展 IN 大宮

エ MICE誘致促進事業

県による補助事業「コンベンション開催支援事業」の申請受付窓口になるとともに県内誘致団体と連携した誘致活動を実施した。

- ・受付件数 37件、延べ宿泊者数 15,147名
※前年度受付件数19件（うち中止2件）、延べ宿泊者数 8,274名
助成金額 27,284千円（交付決定は県が実施）
※前年度助成金額 13,730千円
- ・県内の各種団体、コンベンション施設等と連携し、都内において営業活動を実施
令和5年6月21日～22日、11月16日～17日
- ・イベント出展
郡山コンベンション相談会 令和6年3月7日 郡山市

オ 福島県観光誘客促進・情報発信事業

イベント会場でのパンフレット配布等による観光PRおよび、商談会での観光商品営業を実施した。

(ア) イベント等会場での観光PR

- ・全国有床診療所連絡協議会総会福島大会
令和5年9月2日～3日 福島市
- ・第28回全国ママさんバレーボールことぶき大会
令和5年9月19日 福島市
- ・ツーリズムEXPO
令和5年10月26日～27日 大阪市
- ・冬スポ
令和5年11月10日～12日 さいたま市
- ・復興庁主催 MEETS!三陸・常磐 ふくしまフェア
令和6年2月10日～11日 越谷市
- ・第28回 福島県の物産展
令和6年2月1日～6日 広島市
- ・アクアイグニス仙台 全国御礼物産フェア Vol.2 福島
令和6年2月22日～3月3日 仙台市



イベント出展(冬スポ)

(イ) 商談会

- ・令和5年度読売旅行協会東北支部・実務担当者商談会
令和5年5月9日 仙台市
- ・阪急交通社国内旅行推進協力会 東北支部 商談会
令和5年5月11日 仙台市
- ・阪急交通社 東北支部 商談会
令和5年11月8日 仙台市
- ・令和5年度ふくしま観光商談会
令和5年11月9日 東京都

カ 歩いて楽しむ復興探究事業

避難地域12市町村の内、浪江町、南相馬市、飯舘村にて新たなフットパスコースを造成し、メディア等の招請イベントを開催して多くの人々に復興の状況や地域の魅力を発信した。また、前年度造成した葛尾村、川内村、田村市のフットパスコースにおいては、西郷村で開催されたフットパスの全国大会に参加しPRを行った。さらに専用ホームページを立ち上げ、正式なマップやPR動画を作成し、継続的な情報提供を可能にした。

- ・全国フットパスの集い（フットパス全国大会）

開催日程：令和5年10月28日～29日

参加者数：約250名（うち、本事業参加者17名）

開催場所：西郷村



全国フットパスの集い

- ・浪江町フットパスイベント

開催日程：令和5年11月23日

参加者数：33名



- ・飯舘村フットパスイベント

開催日程：令和5年12月2日

参加者数：38名



フットパスイベント

- ・専用ホームページの開設

(<https://www.tif.ne.jp/footpath/>)



② 海外誘客推進事業

ア デジタルコンバージョン事業

地域と連携して訪日客向けコンテンツを整備するとともに、各地域において通訳案内士の活用や海外誘客の核となるプレーヤーの育成に取り組んだ。また、令和3、4年度に整備したコンテンツを当協会の英語サイト「Fukushima Travel」において販売した。

さらに、サイト内の「Official Fukushima Tourism Information」や「Safety in Fukushima」の更新の他、新たな旅行トレンド、魅力ある福島の情報などを海外誘客専門員によるSNS等により海外に向けて発信した。

(ア) 地域との連携

新たなコンテンツ5件に対し、モニターツアーの実施等を通して外国語による案内や外国人旅行者への対応能力等の向上を図り、海外向けコンテンツとして磨き上げを図った。

コンテンツ名	対象地域	事業者名
1740年から続く老舗で、畳文化の学びとワークショップ	須賀川市	久保木畳店
会津藩士の学び舎で弓道体験	会津若松市	會津藩校日新館
サイクリングで海沿岸のフォトジェニックスポット巡りツアー	いわき市	颯サイクル
ヨガと森のトレイルウォーキング、発酵食ランチ体験	いわき市	特定非営利活動法人勿来まちづくりサポートセンター
日本の豪雪地帯の伝統的な履物、かんじき体験	北塩原村	はれがさやアクティビティー



1740年から続く老舗で、畳文化の学びとワークショップ／須賀川市



日本の豪雪地帯の伝統的な履物、かんじき体験／北塩原村

(イ) 通訳案内士研修

座学研修2回、先進地ツアー視察1回、モニターツアー（実践）研修というプロセスで学べる仕立てで実施した。

	実施日程	研修形式	参加人数
1	9/1	座学研修（コミュニケーション基礎講座）	14名
2	9/5	先進地ツアー視察研修（築地フードツアー）	13名
3	9/5	座学研修（ツアー造成基礎講座）	13名
4	11/20・21	モニターツアー（実践）研修	24名
5	R6年 1/16	モニターツアー（実践）研修	6名

(ウ) コンテンツの協会サイトでの販売（令和3、4年度整備分）

【販売実績】

件順	商品名	件数(件)	送客人員(人)	販売額(円)
1	ドリフトタクシー乗車体験	9	11	550,000
2	エクストリーム温泉体験	2	2	48,400
3	五色沼スノーシュー体験	2	11	58,800
4	赤べこ絵付け体験	2	6	8,580
5	霧幻峡の渡し体験	2	6	18,000
6	フルーツ狩り体験	2	4	2,800
7	南相馬海岸トレッキング	1	1	15,000
8	会津塗蒔絵体験	1	2	10,000
計		21	43	711,580

(エ) デジタルプロモーションの実施

デジタルマーケティングの観点から外国人の興味・関心などを分析し、前年度に本事業で磨き上げたコンテンツも含め、SNSを中心とした情報発信や動画を活用したWEBプロモーションを実施した。

- ・ Facebook投稿数 164回 15,714エンゲージメント
- ・ Instagram投稿数 99回
386,794インプレッション
- ・ ライブ配信 (Facebook)
回数 25回 146,542リーチ
- ・ 多言語WEBサイトのビュー数
1,502,984pv
内 訳：英語 1,297,499pv
(前年同期 1,251,084pv)
- 中国 106,879pv 韓国 52,185pv 越 (ベトナム) 46,421pv



FUKUSHIMA TRAVEL インスタグラム

・ WEBプロモーション

	広告実施日程	広告種類	広告内容	リーチ数
1	8/1～16	Facebook & Instagram	大内宿着物体験+大内宿蕎麦作り体験) エクストリーム体験 (エビスサーキット +エクストリーム温泉)	213,457
2	9/29 ～10/13	Google	エクストリーム (エクストリー ム温泉・ドリフトタクシー)	107,410
3	10/27 ～11/10	Facebook & Instagram	霧幻峡の渡し 赤べこ絵付け体験	120,006
4	令和6年 1/25～2/14	Google	赤べこの絵付け体験 狐のお面絵付け体験	90,352

イ 福島インバウンド誘客周遊促進事業

台湾、タイ、ベトナム、韓国からの旅行商品を開発・企画する旅行会社等に対し、商品造成の支援を行った。なお、県内バスを利用した場合や浜通り地域へ宿泊した場合の加算などを追加して実施した。また、本支援をPRするため、海外で開催された商談会へ参加した。

支援旅行会社数：44社

支援対象ツアー数：615件、送客人員：17,442人

支援金額：121,615千円

【支援内訳】

国	支援会社数(社)	件数(件)	送客人員(人)	支援金額(千円)
台湾	28	582	16,500	114,038
タイ	14	27	724	5,982
ベトナム	1	5	204	1,525
韓国	1	1	14	70
計	44	615	17,442	121,615

【参加商談会】

開催日	開催国	商談会名	主催
5/2	タイ（バンコク）	日本東北観光フェア	東北観光推進機構
10/4	台湾（台北）	福島県観光セミナー ・商談会	福島県
12/6	台湾（台北・台中）	同上	福島県
12/8	台湾（台北）	日本東北遊楽日	東北観光推進機構
R6 2/7	オーストラリア（パース）	Japan Roadshow	J N T O

ウ 国際教育旅行等誘致促進事業

台湾を中心に国際教育旅行を誘致するため、県内の学校に対し海外の学校との交流希望を調査するとともに、台湾からの教育旅行関係者の招請、台湾でのセミナーの開催や学校訪問（台湾）などにより、本県の正しい情報や教育旅行素材のPR等を行った。

(ア) アンケートの実施

県内すべての小学校、中学校、高等学校、支援学校を対象とし、海外の学校との交流に関するアンケートを実施。

対象学校数：741校（389小学校、230中学校、95高等学校、27支援学校）

回答数：456校（回答率62%）

うち112校から交流事業の受け入れに可能性ありと回答。

(イ) オンライン説明会の実施

海外の学校との交流実現のため、「受け入れ可能性あり」と回答した学校を対象としてオンラインによる説明会を開催し、14校が参加した。

(ウ) 教育関係者の招請

教育旅行関係者に直接本県を訪問いただくことで、教育旅行による台湾等からの旅行者の誘致を促進するため、教育関係者を招請した。

a 2023年国際観光振興機構（J N T O）主催「台湾教育旅行関係者招請」参加F A Mトリップ（福島県～山形県～宮城県）

・令和5年10月17日～10月21日（※福島県10月17日～18日）

No.	学校名・参加者
1	桃園市立龍潭高中 校長
2	國立大湖高級農工職業学校 校長
3	桃園市立壽山高級中等学校 校長
4	國立二林高級工商職業学校 校長
5	國立雲林特殊教育学校 校長
6	桃園市立南崁高級中等学校 校長



台湾からの学校関係者招請(郡山駅)

訪問先：ホテルマウント磐梯(宿泊)、

道の駅いなわしろ いちご園、会津藩校日新館、鶴ヶ城会館、鶴ヶ城等

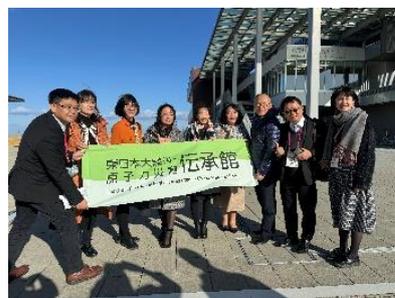
b 協会実施

福島と台湾を結ぶ定期チャーター便を利用して、教育関係者を招請し、外国人教育旅行のニーズに合致する本県の体験・交流素材についての視察を実施した。

ふたば未来学園高等学校中学校視察中に、国立彰化女子高級中学とのバトミントン交流が決定した。

・令和6年2月27日～3月1日

No.	学校名	役職
1	教育部国民及学前教育署(教育部)	科長
2	国立台南家齊高級中学	校長
3	国立彰化女子高級中学	校長
4	国立新竹女子高級中学	校長
5	高雄市立高雄女子高級中学	校長
6	国立宜蘭高級商業職業学校	校長
7	国立新竹高級中学	校長
8	国立虎尾高級農工職業学校	学務主任
9	国立虎尾高級農工職業学校	訓育組長



台湾教育旅行関係者招請
(原子力災害伝承館)

訪問先：(視察実施校) 会津学鳳高校、ふたば未来学園高等学校中学校
(ホープツーリズム) 東日本大震災・原子力災害伝承館
震災遺構・浪江町立請戸小学校
(会津の歴史学習) 鶴ヶ城(城内見学) 会津藩校日新館(弓道体験)
田季野(昼食：会津の郷土料理わっぱめし)

(エ) 台湾での現地セミナーの実施

令和5年12月13日 台湾台中市 46校 54名参加

令和5年12月15日 台湾雲林県 27校 31名参加

(オ) 台湾での現地フォローアップ

昨年度までに招請した教育旅行関係者12校、本年度の招請事業に参加した教育旅行関係者4校、計16校を訪問した。

(カ) オンライン交流の実施

福島県側と台湾側から学校交流の希望があった学校をマッチングさせ、オンライン交流を実施した。

〈オンライン交流実施校〉

No.	実施日	福島県	台湾
1	1月24日	田村市立大越中学校	台北市立景興国民中学校
2	2月21日	会津ザベリオ学園小学校	台中市私立華盛頓国民小学
3	2月22日	会津美里町立本郷小学校	新北市立桃子脚国民中小学校
4	3月6日	会津美里町立新鶴小学校	新北市立桃子脚国民中小学校

(キ) タイガーエア台湾初便(1/16 福島空港発)での台湾訪問

令和6年1月～3月までの福島空港台湾桃園空港間の定期チャーター便の運航に伴い、初便にあわせて、県内関係団体代表とともに台湾関係機関への訪問挨拶、「ふくしまの夕べ交流レセプション」へ参加した。

令和6年1月16日～18日

訪問先：タイガーエア台湾、日本台湾友好協会、台北市旅行商業同業公会
現地関係者を招いてのレセプション

エ 国際観光推進委員会の運営

国際観光推進委員会の開催を通して、官民一体となった海外向けのプロモーション活動等を推進するとともに、日頃の取組等について委員と情報を共有し当協会の事業展開に繋げることで海外誘客の促進等を図った。

- ・ 第1回：令和5年 6月19日 参加者18名 ※うち県2名
- ・ 第2回：令和5年11月28日 参加者13名 ※うち県2名
- ・ 第3回：令和6年 3月22日 参加者16名 ※うち県2名

③ホープツーリズム推進事業

ア ホープツーリズム運営・基盤整備事業

福島でしか実施できない学びのツアー「ホープツーリズム」の拡大に向け、フィールドパートナー(FP)の手配や各コンテンツ素材の紹介、コース提案を行った。全国の旅行会社、教育旅行関係者、企業等からの多様なニーズに対応するため、ワンストップ窓口の運営を行うとともに、富岡町にサポートセンターを開設し、ツアーの添乗や現地サポート業務、地元関係機関との連携強化に取り組んだ。

(ア) 総合窓口運営

- ・ 問い合わせ対応件数 313件(新規142件、継続9件、その他162件)
- ・ ホープツーリズム公式サイト運営
旅行会社登録数 385件(うち新規登録56件)
アクセス数 53,295PV

○ ホープツーリズムロゴマークの作成

ホープツーリズム関係者及び関係団体が統一的なイメージにより県内外への効果的なPRを行い、「ホープツーリズム」の認知度やブランド力の向上を図るため、ロゴマーク及びロゴマークを使用した関係者配布物を制作した。

- ・ ピンバッチ500個、ツアーフラッグ10本のぼり旗20本



(イ) 受入体制の強化

○ 企業研修プログラムの造成

企業、団体等が実施する人材育成研修用のプログラムを3件造成し、参加者向け研修用ガイダンス動画の制作を行った。(20分程度)

また、企業関係者・旅行会社向けにモニターツアーを実施した。(2回(旅行会社等18組織32名参加))

さらに、企業研修向けワークショップのファシリテーターを4名育成した。

- フィールドパートナー人材育成研修（スキルアップ）
ツアの進行役となるフィールドパートナーの人材育成を実施するとともに、講師用マニュアルを作成した。
伝承館プログラムFP研修：講義3回、実践3回 参加者15名
一般ホープツーリズム研修：講義6回 参加者4名
FPスキルアップ研修：講義6回 延べ参加者21名
模擬ツアー2回 延べ参加者22名
FP講師との勉強会1回
リアル3名、オンライン8名
- 復興に向けて果敢に挑戦する人々（ツアー参加者との対話を行う方）の新規登録20人
- ホープツーリズム用専用教材「福島のある日からいま」の情報更新及び印刷作成部数：5,000部



FPスキルアップ研修

(ウ) サポートセンター運営

浜通り（富岡町）にホープツーリズムサポートセンターを開設し、ツアーの添乗や地域人材の更なる発掘、浜通り地域の最新情報の収集、募集型旅行商品造成に向けたガイド研修等の実施や人材育成研修の現地開催に関する連絡調整業務等を行った。

開所日：令和5年5月8日 さくらモールとみおか内

- ・ ツアーに関わる現地対応
- ・ 伝承館プログラム手配業務
- ・ 伝承館プログラム手配業務のためのFP用管理システム導入
- ・ フィールドパートナー（FP）育成事業の運営
- ・ ガイド（FP及び地域ガイド）用動画撮影



ツアー現地対応（振り返り学習）



ガイド（FP及び地域ガイド）用動画

(エ) 新たなホープツーリズムへの事業展開

「ホープツーリズム」に一般観光客向けの要素を加えた、旅行商品の造成及び情報発信を行った。

【一般観光客向け旅行商品造成・募集販売】

- ・旅行会社向け旅行商品造成説明会の開催
(オンライン形式) 令和5年9月7日(木)
参加者：24社39名
- ・旅行会社造成担当者向けモニターツアーの実施
令和5年10月5日～6日(1泊2日)
参加者：4社 4名
令和6年2月29日～3月1日(1泊2日)
参加者：9社12名
- ・各旅行会社の募集型旅行商品造成に伴う広告宣伝費補助事業の実施
旅行商品造成数：24商品、参画旅行会社：10社、11支店
送客人数：259名



旅行商品募集広告

【一般観光客向け情報発信】

- ・募集型旅行商品造成に合わせたSNS等WEB広告配信

募集型旅行商品ランディングページの制作(旅行会社9社、18広告)

SNS等を活用した広告配信(4媒体) 配信回数3回、

インプレッション数5,569,287回、
クリック数40,255回



募集旅行商品のWEB掲載

- ・「ホープツーリズムエンジョイプラス」サイトのリニューアル
掲載コンテンツの追加(10か所)、動画を活用したモデルコースの造成(4コース)、掲載コンテンツの情報更新(20コンテンツ)

イ ホープツーリズムツアー販売事業

【令和5年度ツアー販売実績】

	協会実施		ランオペ※1		合計		参考/4年度	
	件	人	件	人	件	人	件	人
教育旅行	29	753	22	2,864	51	3,617	65	5,367
企業・団体研修	43	1,050	6	165	49	1,215	44	1,758
コンテンツ※2	32	677	64	2,497	96	3,174	55	3,514
伝承館プログラム※3			200	8,470	200	8,470	155	7,167
計	104	2,480	292	13,996	396	16,476	319	17,806

前年度比で人数は1,330人減少したが、件数は1.24倍←

※1 ランオペ：ランドオペレーター(旅行会社からの手配代行業務)

※2 コンテンツ：学校、団体等に対する対話者・FP出張対話

※3 伝承館プログラム：東日本大震災・原子力災害伝承館の一般研修における
ガイダンス、フィールドワーク、ワークショップへのFP派遣

ウ ホープツーリズム推進協議会の開催

国、県、市町村、まちづくり会社、宿泊施設、旅行会社等の関係機関を参集し、「令和5年度ホープツーリズム推進協議会」をオンラインにより開催した。

開催日：令和6年3月18日

参加団体数：72団体

説明事項：ホープツーリズムの概要、実績、次年度の取組、連携先機関の取組等。また、関連企業、商品造成旅行会社、訪日教育旅行の担当者や教員、生徒によるホープツーリズムとの連携や体験談を含む事例発表を行った。

教育旅行

種別	協会実施取扱			ランオベ取扱			R5見込	R4実績	対比
	R5見込	R4実績	対比	R5見込	R4実績	対比			
教育旅行	件数	27	20	135.0%	22	20	49	65	75.4%
	人数	732	390	187.7%	2,582	4,977	3,395	5,367	66.9%

*協会実施取扱の件数・人数については135%/187%と確実に伸びている。
*ランオベ（AGTの手配代行）は件数・人数ともR4年度比で50%前後と大きく減少。

R4年度に「コロナ禍」で増えた取り扱いが、R5年度は従来の旅行形態に戻る傾向にある。
入込は一定程度ある中でランオベ取扱が減少していることは、学校や旅行AGTに対してホープツーリズムのフルパッケージ利用促進を促すことが必要。

教育旅行推進事業と連動して「ホープツーリズムの教育効果」を前面に押し出したAGTセールス活動強化と、過去の実績校への営業強化が必要

R5年度は2月末見込み数値



行く前は建物など崩れてたりと荒廃したイメージで、何も改善されていないと思ってましたが、

協議会の様子(オンライン)

④ 教育旅行推進事業

ア 教育旅行誘致促進事業

(ア) 教育旅行誘致活動の実施

教育旅行誘致キャラバンを実際の訪問により実施し、旅行会社の教育旅行担当者を対象として20都道府県で実施した。

・対象地域：

北海道（札幌市）、近隣エリア（新潟県、栃木県、茨城県）、
首都圏エリア（埼玉県、千葉県、東京都）、関西エリア（大阪府、京都府）
東海エリア（愛知県、岐阜県、静岡県、三重県）、愛知県愛西市
九州エリア（福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県、熊本県、鹿児島県）
沖縄県（那覇市）

・実施期間：令和5年7～令和6年2月の期間に10回に分けて実施

・班数・参加人数：24班62名

・訪問件数：206ヶ所

AGT：180支店、マスコミ：2社(新聞社)

学校（小・中・高・大）：13校

教育委員会：3か所

その他：8社（教育委員会・各県私学協会等）

・キャラバンの成果（一例）

北海道エリア：令和5年度実績9校758人泊

→令和6年度見込10校930人泊に増加

中部エリア：岩手県・宮城県を訪問している愛知県愛西市内中学校6校が令和7年度は福島県・宮城県にて実施する計画となった。

沖縄県：教育長へのPRの結果、令和6年5月那覇西高等学校の2学年宿泊学習が計画された。



教育旅行商談会(名古屋)

- (イ) 東北観光推進機構主催セミナー・商談会への参加
 - ・実施期間：令和5年7月～9月
 - ・実施会場：5会場（北海道・東京・名古屋・大阪・福岡）
 - ・実施内容：プレゼンテーション、学校、教育旅行関係者との商談会
- (ウ) 「ふくしま教育旅行」ホームページ運営管理
 - ・ホームページ情報発信件数 40件 ※前年度42件
 - ・アクセス数 6,265,984PV ※前年度2,875,362PV
- (エ) 教育旅行関係者へのメールマガジンの配信
 - ・配信回数 12回（延べ18,404件に配信）
- (オ) 教育旅行ワンストップ窓口対応
 - ・相談件数：247件 ※前年度207件
- (カ) 教育旅行入込調査の実施

令和4年度の教育旅行入込に関する調査を県と連携して実施。

 - ・調査対象施設数：539件
 - ・調査協力施設数：436件（回答率80.9%）
 - ・延べ宿泊者数：377,676人泊 ※前年度222,424人泊
 - ・学 校 数：5,065校 ※前年度2,751校

イ 教育旅行魅力発信強化事業

県外の教育旅行関係者（教員、旅行会社等）を対象としたモニターツアーを実施し、本県教育旅行の学習効果や魅力の周知拡大を図った。また、本県への教育旅行を実施した学校への密着取材を行い、情報発信及び県外の教育旅行関係者向けガイドブックの更新等に活用した。

(ア) モニターツアー

- ・対象者：高等学校の生徒及び教員、旅行会社社員
- ・参加地域：1都2府18県
（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、岐阜県、静岡県、愛知県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）
- ・実施回数：7回
- ・参加者数：47学校/教員50名・生徒22名、旅行会社11社/12名
- ・モニターツアー実施による成果

参加教員の学校にて教育旅行の実施計画につながった。

令和5年度 首都圏複数校による15名の合同教育旅行が実施された。

令和6年度 埼玉、静岡、福岡各県より4校306名の教育旅行が計画中。



教員等モニターツアー

(イ) 只見線沿線地域の教育旅行モデルコース造成

只見線沿線地域において教育旅行コンテンツを3件造成し、当該コンテンツを組み入れた教育旅行のモデルコースを造成した。

コンテンツ名	対象地域	協力事業者名
JR 只見線から考える災害復興と奥会津の暮らし	只見町	合同会社メーデルリーフ (只見町)
只見ユネスコパークで豪雪地帯の自然環境を学ぶ	只見町	同 上
移住者との里山体験及び対話交流プログラム	金山町	同 上

(ウ) SDGs 探究プログラムの情報更新等

新規プログラム4件の造成と既存のプログラムの情報更新を行い、ガイドブックを5,000部作成した。

プログラム名	対象地域	協力事業者名
ビーウォッチング（ミツバチ生態観察 or 蜂場体験）	会津若松市	有限会社松本養蜂総本場
新しい段ボール箱の魅力発見！製造過程の工場見学	須賀川市	神田産業株式会社
クラフトビール工場見学循環コンテンツ体験	田村市	株式会社ホップジャパン
猪苗代湖の水環境保全体験プログラム	猪苗代町	株式会社いなびし

(エ) 素材収集・資料作成等

教育旅行を実施した学校への密着取材による写真素材等の収集により、ホープツーリズムの事前学習用動画、ホープツーリズム総合ガイドブック(5,000部)、教育旅行総合ガイドブック(6,000部)を作成した。

(オ) 展示会への出展

10月26～29日開催の「ツーリズムEXPOジャパン2023大阪・関西」に出展し、教育旅行及びホープツーリズムのPRを行った。

- ・来場者数：148,062名（4日間延べ来場者数）
- ・ブース内アンケート数：624件

ウ 合宿の里ふくしま復興事業

県内の各地域において実施する広域的な合宿誘致の取組を支援するとともに、合宿に関するワンストップ窓口やポータルサイトの運営等を行った。

(ア) 地域連携に向けた支援

複数市町村で構成するエリアなど広域的な合宿誘致の窓口を設置し、エリア単位でチラシ、パンフレット、WEBサイトの作成等を実施するとともに、学校や旅行会社への訪問活動、各種イベントへの出展等による誘致活動を行った。

【令和5年度支援エリア】

- ① 北塩原村・磐梯町・猪苗代町エリア：誘致活動、パンフレット増刷
 - ② ふくしま田園中枢都市圏（県北広域圏9市町村）エリア：誘致活動、HP更新等
 - ③ 新地町・相馬市エリア：誘致活動、HP更新等
 - ④ 福島県県南エリア：誘致活動、HP改修、パンフレットリニューアル等
 - ⑤ 広野町・檜葉町・富岡町エリア：誘致活動
 - ⑥ 南会津町・下郷町・只見町・檜枝岐村エリア：情報発信サポート（スポーツツーリズムEXPO含む）
 - ⑦ 二本松エリア：誘致活動、パンフレット発送
 - ⑧ 郡山エリア：誘致活動、パンフレット増刷
- (イ) 誘致活動及び下見受入のサポート実施
下見費用支援：11件（全エリア）
- (ウ) 支援事業による成果

支援エリア	合宿団体数 (R5年度)	延べ人泊 (R5年度)
北塩原村・磐梯町・猪苗代町エリア（※1）	—	—
ふくしま田園中枢都市圏	13件	282名
新地町・相馬市エリア	51件	2,084名
県南エリア	16件	547名
広野町・檜葉町・富岡町エリア	39件	2,585名
南会津エリア	19件	2,579名
二本松エリア（※2）	17件	2,510名
郡山エリア	89件	2,925名

※1 各町村にて受付のため把握無し。

※2 令和6年度オープン「二本松グリーンフィールド」のPRにより3件
3,300人泊の見込あり。

エ 教育旅行推進委員会の運営

教育旅行推進委員会を設置し、日頃の教育旅行誘致促進に関する取組や各エリアでの受入・対応の情報を委員と共有することで、県内全域での教育旅行誘致促進を図った。

- ・第1回：令和5年6月20日 12名参加 ※うち県2名
- 第2回：令和6年3月22日 14名参加 ※うち県1名

(2) 県産品振興事業

① 福島県観光物産館運営事業

常設の展示・販売を行うとともに、金賞受賞酒フェア、開館20周年フェア、ブランド米「福、笑い」フェア、スイーツフェアをはじめ、市町村関連のイベント、生産者の対面販売を中心とする各種企画催事を開催した。

各コーナーにおいて、季節や客層に応じて商品構成を充実拡大し販売商品の品揃えを豊富にするとともに、新聞折込チラシによる話題商品の紹介、ふくしまラウンジにおける新メニューの提供、県外観光客向けの定番商品の強化及び地元客向けの商品充実を図ったこと等により、観光物産館オープン以来最高の売上となった。

また、EC 事業については、日本橋ふくしま館の EC 事業や物産館の受注（客注）業務と統合したオンラインストア「ふくふくマルシェ」として再構築を図り、夏ギフト、クリスマスケーキ・おせち、恵方巻、バレンタイン、ひな祭り、ホワイトデー商品の EC 予約販売を実施。（チラシの新聞折り込みで EC 予約周知）。クリスマスケーキにおいては、予約数の半数以上が EC での予約となり、利用者へのサービス向上と受発注事務の効率化を図ることができた。

【展示状況】	出品者数	1,060社	展示点数	約7,500点
【販売状況】	売上額（税抜）	906,098千円	（前年度比	105.4%）
	販売点数	1,313,890点	（前年度比	106.1%）
	来館者数	677,919人	（前年度比	104.7%）
	購買者数	421,095人	（前年度比	125.0%）
【大阪サテライトショップ】	売上額（税抜）	14,623千円	（前年度比	130.8%）
	外販が好調、イベントにも積極的に参加（合計38回出店）			

ア 共同開催イベント

(ア) はま・なか・あいづ秋の菓子まつり（11/17～19）

全県から菓子店約 50 社 200 品目出品し、和洋菓子の実演コーナー設置。

飲食コーナーでの限定ケーキ、パフェ、おこわ定食の販売など 3 日間で約 13,000 人が来館した。

(イ) 金山赤かぼちゃスイーツフェア&販売会（8/18～20、25～26、9/15～16）

赤かぼちゃとスイーツを販売。毎回購入のための行列ができ、名物販売会として定着した。



菓子まつりに展示出品された
「練切細工 秋の宴」



金山赤かぼちゃフェア

（その他の主な催事）

- ・ふくしま三大鶏ブランドフェア（4/7～9）
- ・サマーニットフェア（4/21～22、6/9～10）、冬のニットフェア（12/15～17、1/19～21）
- ・全国新酒鑑評会金賞受賞酒・出品酒フェア（5/26～）
- ・金賞受賞酒飲み比べフェア（6/9～6/23～）
- ・相馬ブランド認証商品フェア（7/7～）
- ・ふくしま産業賞フェア（7/28～30）
- ・川俣町・近畿大学復興連携フェスタ（8/26～27）
- ・あぶくまフェア2023（9/8～10 10/20～22）
- ・ふくしまの醤油フェア2023（9/30～10/15）
- ・新米フェア「福、笑い」販売会（10/27～29）
- ・県南販路拡大推進協議会販売会（11/21～22）



ふくしま産業賞フェア

- ・相馬地方ふるさと物産展（11/24）
- ・南会津うまいものフェア（12/2～3）
- ・西白河郡の美味しいここにあります！特産品フェア（1/13～14）
- ・ふくしまベストデザインコンペティション受賞販売会（1/22～28）
- ・ふくしま満天堂プレミアム受賞品販売会（1/25～）
- ・あぶくまロマンチック街道沿線地域特産フェア（2/3～2/4）
- ・奥会津んめえ！すんげえ！まるっと市（2/23～25）
- ・ふくしまいち推し特産品フェア（3/22～24）

イ 新商品・季節イベント企画等の情報発信

チラシの新聞折り込みを月2回実施するとともに、お中元、お歳暮ギフト、クリスマスケーキ・おせち料理チラシを各1回実施したほか、フェイスブック、ホームページ等で最新情報を発信し来館促進を図った。

ウ パブリシティを活用した効果的なPR

マスコミに、催事企画・新商品等の話題を提供し積極的に情報発信を行った。新聞掲載は40回以上、テレビ・ラジオ取材・出演も40回以上となった。

エ 事業者・生産者への助言・情報のフィードバック

館長が講演会、研修会、セミナー等に参加し、新商品の開発や普及宣伝、販路開拓・拡大に取り組む事業者等に対して指導・助言などを行うとともに、流通業者や消費者からの意見や情報をフィードバックすることにより、競争力の高い商品開発と効果的な販路開拓を支援した。また、消費者、一般客向けの講演、講師も行い、県産品への更なる理解を深めるきっかけづくりにつながった。

【主な講習会等】

- ・「相馬ブランド」認証審査会
- ・「田村市ブランド」産品認証委員会
- ・福島商工会議所「売れる商品づくり」支援事業 講師
- ・東京農大主催「農業経営セミナー」講師
- ・東京農大東日本支援プロジェクト2023年度活動報告会 講評
- ・「あだたら商工会ブランド」認証審査会
- ・福島県農業従事女子会「富女子会」講師
- ・ふくしま六次化創業塾 講師
- ・あづま山麓蔵元ツーリズム PR 動画作成事業者選定 審査委員
- ・福島県市町村教育委員会連絡協議会研修会 講師
- ・相双復興推進機構 地域推進事業 規格競争審査員
- ・6次化産業の可能性を考える座談会（財界ふくしま）参加

オ インボイス制度の対応

令和5年10月に消費税の仕入税額控除の方式であるインボイス制度が開始されたことを受け、必要なシステム改修を行うとともに、関係要綱を改定するなどの確に対応した。

カ 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症について感染症法上の分類が変更された中でも、引き続き、換気・消毒の徹底や、職員に対する意識付けなど最低限必要な感染症対策を行い、安心・安全な売場に向けて取り組んだ。

キ 観光PR

物産と観光の連携を深めるため、観光パンフレットの設置、観光ポスターの掲示のほか、来館者の求めに応じ県内観光の案内を実施した。

ク 指定管理者の次期指定（令和6年度から10年度まで）

福島県観光物産館の指定管理者指定申請書を福島県に提出し、面接審査の結果、令和5年12月28日付けで福島県から次期指定管理者の指定通知を受けた。

ケ 特定施設県産品選定委員会

特定施設（福島県観光物産館、日本橋ふくしま館）における取扱商品を選定するために「特定施設県産品選定委員会」を開催し、新たに961品目を選定した。

② 日本橋ふくしま館運営事業

首都圏における風評払拭・風化防止の最前線として、優れた県産品の展示・販売や生産者による対面販売、県内各市町村等による各種催事企画を通じて、県産品の安全・安心や県内の震災後の復興状況、観光情報、定住・二地域居住情報等の総合的な情報発信を行い、県産品の販売促進・販路拡大、観光誘客を図った。

【展示状況】	出品者数	600社	
	展示点数	約2,500点	
【販売状況】	売上額（税抜）	427,311千円	（前年度比 111.9%）
	うち店舗	318,778千円	（前年度比 109.3%）
	うち外販	108,533千円	（前年度比 120.4%）
	販売点数（店舗）	604,680点	（前年度比 109.5%）
	来館者数（店舗）	346,411人	（前年度比 106.1%）
	購買者数（店舗）	198,472人	（前年度比 113.0%）

ア 店内の充実

（ア）全国に誇る日本酒や桃などの旬の果物、メディアで紹介された新商品など話題性や時節を活かした商品を品揃えしたほか、新商品やスタッフおすすめ品などを店頭やSNS、ホームページ上で積極的に紹介した。

（イ）県の観光情報とそれに関連する商品を展示・販売する「観光企画展示コーナー」を設け、県内観光資源と県産品を有機的に結びつけて一体的にPRし、観光及び県産品の振興につなげた。

◆ 観光企画展示コーナー（例）

- ・相馬野馬追、わらじ祭り、会津まつり、雪まつりなど県内各地域のイベント開催に合わせて当該市町村及び周辺市町村の観光・物産PR
- ・滝桜、花見山など桜・お花見の名所に関する情報と桜関連商品
- ・新緑や紅葉の季節に奥会津・南会津など会津地域の観光・物産

- ・夏の行楽シーズンにいわきなど浜通りの観光・物産
- ・その他（鶴ヶ城天守閣リニューアル、応援ポケモン「ラッキー」）など



奥会津観光・物産 PR



ふくしま応援ポケモン「ラッキー」コーナー

- (ウ) 土日・平日の来館者層に着目し、土日はご家族で楽しんでいただけるような催事を充実させるとともに、平日は近隣にお住まいの方やお勤めの方に良質な県産品をPRするため、「おすすめ商品」や「企画展示販売」、「旬の商品（果物、野菜等）」、「メディア紹介商品」などを積極的に展開した。
- (エ) 冷蔵・冷凍ケースを1台増設し、年間を通じて水産加工品コーナーを充実させるなど風評対策に向けた取組を積極的に行った。
- (オ) 飲食コーナーでは、いちごの和パフェや桃パフェ、スムージーなど旬の果物を使用した商品を提供したほか、地ビールフェア、季節限定日本酒の飲み比べフェアなど時機を捉えた企画を展開した。

また、新たな飲食事業者の発掘にも努め、様々なメニューを提供したほか、店内催事と同地域の事業者の選定を行うなど、館全体が一体感を醸成することができるよう努めた。

- (カ) 5月1日から営業時間を変更し、平日と土日祝日の営業時間を統一した。これにより、お客様に分かりやすい営業時間になるとともに、来館者が少なくなる平日夜の営業時間が短縮され、多くの来館者が見込まれる土日祝日の営業時間が延長されるなど効果的・効率的な店舗運営を図った。

◆変更後の営業時間 10:30～19:00（5月1日以降）

（変更前の営業時間 平日 10:30～20:00、土日祝日 11:00～18:00）

イ 誘客・情報発信

- (ア) 「MIDETTEだより」の発行

月1回「MIDETTEだより」を発行し、催事予定等の情報発信を行うとともに、SNS、ホームページ等で最新情報を発信し来館促進を図った。

- (イ) 効果的な広告宣伝の実施

WEB広告の実施及び効果検証の継続的实施により、ターゲットを絞った情報発信を行い、広告を通じてホームページ等を閲覧される方の特性（年代・地域等）に応じた広告内容や季節の商品を取り入れた広告内容に適時適切に変更を行うなど、より効果的な広告宣伝を実施した。

また、年の瀬市、新春市時の特別商品PRのため、都内近隣地域へチラシ3万枚のポスティングを実施した。なお、ポスティング地域についても、WEB広告の効果検証を経て重点化するなど、効果的かつ効率的な広告宣伝を図った。

- ◆ WEB 広告実績 (Google ディスプレイ広告)
 - 期 間 : 令和 5 年 4 月 14 日～令和 6 年 3 月 31 日 (延べ 350 日)
 - 広告表示回数 : 5,695,143 回 (16,271 回/日)
 - 広告クリック数 : 43,215 回 (123 回/日)

(ウ) 定住・二地域居住に関する情報発信や観光業務の充実

本県への定住・二地域居住を推進するため、首都圏からの移住に関する情報の発信や相談業務等を行うとともに、来館者に対し本県の観光案内を実施し誘客を図った。

また、日本橋ふくしま館における移住相談会「お仕事帰りの移住相談会」の開催情報や県の移住関連情報などについてWEB広告を活用して発信し、ターゲットを絞った情報発信を行った。

- ◆ 定住・二地域居住、観光相談 : 252 件 (前年度 228 件)
- ◆ WEB 広告 (移住促進) 実績 (Google ディスプレイ広告)
 - 期 間 : 令和 5 年 7 月 14 日～令和 6 年 3 月 12 日 (延べ 45 日)
 - 広告表示回数 : 506,634 回 (11,258 回/日)
 - 広告クリック数 : 4,623 回 (102 回/日)

ウ 販路開拓 (外販対応)

(ア) ふくしま応援企業ネットワークを始め、様々な企業・団体、行政機関等へ積極的に働きかけを行うとともに、経済産業省「魅力発見！三陸・常磐ものネットワーク」とも連携を密にし、企業・大学、オフィスビル、福島県・首都圏自治体主催イベントなど新規外販先の開拓を図った。

また、中央省庁向け販売会について、県東京事務所と緊密に連携し、各省庁に対して積極的に再開の働きかけを行うことにより、「環境省・厚生労働省」、「復興庁」、「原子力規制庁」及び「文部科学省・金融庁」で開催することができ、大きな成果を得ることができた。

- ・外販実績 99 箇所、延べ 177 日 (前年度対比 +8 箇所、延べ △12 日)

(イ) 「ふくしまの酒まつり 2023 (10/12～13 JR 新橋駅西口 SL 広場)」や「まるごとふくしまウイーク (9/1～30 有楽町、銀座、日本橋)」を始め、首都圏における福島県主催イベントに積極的に出展し、福島県とも連携を図りながら県産品の販売促進、風評対策に取り組んだ。

エ 催事の充実

(ア) 県産酒の試飲販売を始め、県内事業者による販売会や国・県・市町村等による観光・特産品等PR事業など切れ目のない催事によるにぎわいを創出するとともに、福島県の「今」と魅力を発信した。

- ・開館 9 周年感謝フェア (4/7～13)
- ・ゴールデンウイークフェア (4/28～5/7)
- ・初夏のビールフェア (5/1～7)
- ・全国新酒鑑評会金賞受賞フェア (5/24～7/3)
- ・夏酒フェア (7/4～14)
- ・ふくしまの桃まつり (7/28～31)
- ・新米 (早場米) 特集 (8/10～)



「福、笑い」新米フェア

- ・奥会津金山赤かぼちゃフェア(8/28～30)
- ・JA花フェア(9/2～4)
- ・秋あがり・ひやおろしフェア(9/5～10/31)
- ・県南地方農産物フェア(9/16)
- ・新米フェア(10/17～10/31)
- ・秋のビールフェア(10/30～)
- ・福島県オリジナル米「福、笑い」新米フェア(11/25～26)
- ・年の瀬市(12/26～30)
- ・新春市(1/2～10)
- ・ふくしまオリジナルいちご「ゆうやけベリー」フェア(1/19～21)
- ・ふくしまベストデザインフェア(1/22～28)
- ・ふくしま三大ブランド鶏フェア(1/26～27)
- ・ふくしまGAPチャレンジフェア(2/3～4)
- ・「来て。春のふくしま県北」フェア(3/1～2)
- ・花見酒フェア(3/8～3/31)



「ゆうやけベリー」フェア

- (イ) 県内の各市町村と連携した観光・物産PR事業を積極的に実施した。
- (ウ) 全国に誇る福島の日本酒の販売力を強化するため、県内の各酒蔵と連携して、日本酒試飲販売会を積極的に実施した。
- (エ) 飲食コーナー等を活用し、お客様参加型イベントを開催するとともに、東京福島県人会によるミデッテ談話会を開催するなど首都圏における福島コミュニティへ貢献した。
- ・東北出身アイドルけっぱって東北「東北応援コンサート」(6/16、7/2、9/2、10/20、11/12、12/17、1/5、3/20)
 - ・東北出身アイドルけっぱって東北「3.11チャリティーコンサート」(3/11)
 - ・目黒麴店「味噌づくり講座」(6/3～4)
 - ・福島県出身タレント鈴木双葉トークイベント(6/17)
 - ・中外製薬「産地応援オンラインイベント(福島の日本酒)」(11/18)
 - ・福島県出身俳優安孫子宏輔「あびこ菓子」リアルイベント(3/2)
 - ・「母心」関あつしトークセッション(3/10)
 - ・南郷刺し子ワークショップ(2/18)
 - ・東京福島県人会「ミデッテ談話会」(4/9、6/11、10/8、12/10、2/11)



東北出身アイドル「けっぱって東北」によるコンサート



南郷刺し子ワークショップ

オ 事業者・職員の育成

- (ア) 事業者による催事を積極的に行い、その中で新たな商品も積極的に取り入れ、首都圏における販売動向を確認するなどテストマーケティングにも取り組むとともに、販売動向を踏まえて、事業者へのフィードバックや館内品揃えへの反映などを行った。
- (イ) 催事事業者については首都圏の消費者の声をもとに販売スタッフとの意見交換などにより次回販売会につなげた。また、接客中に得た消費者の声については、事業者適切にフィードバックした。
- (ウ) 福島現地研修に加え、新規に福島県観光物産館における実務研修を実施し、職員の県産品の知識の向上を図るとともに、県内事業者との連携強化や新規商品の開拓等を図った。

カ インボイス制度の対応

令和5年10月に消費税の仕入税額控除の方式であるインボイス制度が開始されたことを受け、必要なシステム改修を行うとともに、関係要綱を改定するなどの的確に対応した。

キ 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症について感染症法上の分類が変更された中でも、引き続き、換気・消毒の徹底や、職員に対する意識付けなど最低限必要な感染症対策を行い、安心・安全な売場に向けて取り組んだ。

ク その他

- (ア) 県産品の風評に係る各所からの応援については、特にALPS処理水の海洋放出以降に増加し、都内アンテナショップで福島応援メニューの提供や福島マルシェを開催していただくとともに、東京都など全国自治体における県産品PRや米国商務省・在日米国大使館・在日豪州大使館等における県産品PRなど国内外から風評に係る応援をいただいた。
- (イ) 効率的な店舗運営に向け、福島県中小企業診断協会からアドバイスをいただき、以下の内容を盛り込んだ「新アクションプラン」を策定した。(次年度より実行)
 - ・パブリシティの活用促進
 - ・顧客による情報発信促進
 - ・ファン化促進
 - ・インバウンドの開拓
 - ・インスタマーケティング
 - ・高額商品・セット商品開発

③ 県産品流通促進事業

ア 物産展事業

本県の優良産品のPR及び販路拡大とともに、本県観光のPRを行い観光客の誘致促進を図るため、東北各県や全国の観光物産協会等と連携のもと、全国主要都市において観光物産展及び地下催事等を開催し、風評・風化対策に寄与するとともに、観光誘客を図った。

- ・開催回数 49回 (前年度 55回)
- ・出展業者 延べ318社 (前年度 374社)
- ・売上額(税抜) 242,448千円 (前年度 220,359千円、前年度比109.9%)

【福屋八丁堀本店（第28回福島県の物産展：広島市）】

2月1日から6日までの6日間開催

食品30社、工芸8社、売上額21,034千円

【東武船橋店（第26回栃木・福島物産展：船橋市）】

8月22日から28日までの7日間開催

食品29社、工芸7社、売上額30,693千円 等

- ・ 県主催ふくしま観光物産展を沖縄県（那覇市 デパートリウボウ）及び大阪府（大阪市 阪急梅田駅構内）で開催した。

【沖縄展】9月27日から10月2日までの7日間開催

食品21社、工芸5社、売上額23,300千円

【関西展】2月9日から14日までの6日間開催

食品2社、売上額5,669千円

イ 卸売事業

単独では販売力の弱い事業者の販路開拓を支援し、県産品の流通促進・拡大を図るため、展示・商談会等で開拓した小売店等への積極的な営業活動を行うことにより、BtoB型（企業間取引）の卸売事業を行った。

【実績】

- ・ 販売先数 168先（前年度 109先）
- ・ 販売商品メーカー数 190社（前年度 195社）
- ・ 卸売額（税抜） 107,473千円（前年度 95,977千円、前年度比112.0%）
- ・ 商談会出展
フードメッセ in にいがた（R5.11.8～10 新潟市 朱鷺メッセ）
よい仕事おこしフェア（R5.11.21～22 東京都 東京ビックサイト）
フードスタイル関西2024（R6.1.24～25 大阪市 インテックス大阪）

- 円谷プロダクション、福島県と連携しウルトラマン関連製品の開発、販売に着手した。第1弾として「ウルトラマン×起上り小法師」「ウルトラマン×赤ベコ」のコラボTシャツの販売を開始。県内の観光施設、道の駅、旅館ホテル等への営業活動を実施した。

【販売実績】 ※令和5年10月から販売

- ・ ウルトラマン&起上り小法師Tシャツ
卸売額（税抜） 556千円 販売枚数386枚
- ・ ウルトラマン&赤ベコTシャツ
卸売額（税抜） 1,235千円 販売枚数856枚



ウルトラマン×赤ベコTシャツ

○ ふくしまのトップブランド米「福、笑い」

【販売実績】

- ・令和5年度産「福、笑い」2kg（袋）
卸売額（税抜）862千円 販売数量 770個
- ・令和5年度産「福、笑い」300g（キューブタイプ）
卸売額（税抜）587千円 販売数量1,759個

ウ 県産品デジタルアーカイブス事業

令和3年度に協会ホームページに整備した清酒、工芸品、農産物、加工食品等の県産品デジタルアーカイブス（静止画、動画）において、ニーズの多い素材を拡充し、利用者（事業者、消費者等）の利便性の向上と利用促進を図った。

【掲載素材について】

- ・写真 215枚追加（累計 10,296枚）
- ・動画 18本追加（累計 1,042本）

(3) 施設管理運営事業

① くろがね小屋運営事業

県による建替え工事のため令和5年4月1日より営業を休止したことから、工事の進捗状況等の情報発信や水質検査の試料採集等、県との連携・協力により工事の円滑な進捗を図った。

また、電源引込工事の工事業者からの委託を受け、登山道のパトロールや登山者等の通行の安全確保、工事情報の更新等の業務を行った。

くろがね小屋の認知度の維持やPRの観点から、くろがね小屋の夕食で提供していた名物の「くろがね小屋カレー」を観光物産館飲食コーナーで販売するとともに、観光部のフットパス事業のイベントにおいては飯館産牛肉を使用したカレーを提供した。また、オリジナル商品としてポストカードを作成し、販売を開始した。

② 天鏡閣・迎賓館運営事業

ア 天鏡閣

国指定重要文化財天鏡閣の魅力発信のため、季節に合わせた各種イベントを開催するとともに、SNSやホームページによる情報発信を積極的に行い認知度の向上及び誘客に取り組んだ。

また、施設の活用と誘客の促進を図るため、館内でステンドグラスや点描画、水彩画などの美術作品の展示会やフルート奏者による演奏会を開催した。

アフターコロナにおける旅行需要回復に伴い個人・団体ともに入館者が増加し、特に冬期（12月～3月）のツアーによる団体客入込が好調であった（冬期団体入館者：令和4年度120人、令和5年度1,455人）。

更なる団体客誘客のため、観光部との連携により教育旅行誘致キャラバンに参加し新潟県、栃木県の旅行会社等を訪問したほか、独自に首都圏の旅行会社を訪問し営業活動を行った。

令和5年度末に指定管理者の指定期間が終了することから、次期の指定の申請を行い、引き続き令和6年度から令和10年度までの指定管理者の指定を受けた。

- ・入館者数 24,415人 (前年度比117.6%)
- ・入館料収入(税抜) 7,435千円 (前年度比117.8%)

【実施イベント】

- ・天鏡閣と迎賓館の春まつり
令和5年5月3日～5日 入館者849名
(前年度856名/99.2%)
- ・福島県民の日記念イベント
令和5年8月21日 入館者208名
(前年度428名/48.6%)
- ・天鏡閣ライトアップハロウィンナイト
令和5年10月28日・29日
入館者364名
(前年度411名/88.6%)
- ・文化の日記念イベント
令和5年11月3日 入館者228名
(前年度246名/92.7%)



ハロウィンイベント「貴婦人体験」

【展示会等共催】

- ・ステンドグラス作品展示 (4月27日～5月10日)
- ・箏二重奏演奏披露 (7月15日)
- ・曼荼羅点描画作品展示 (9月14日～27日)
- ・水彩画展 (10月28日～11月5日)

【その他の取組】

- ・Instagram等のSNSを活用し、情報発信を行った。
3月末現在 フォロワー415件 (前年度297件/139.7%)

イ 迎賓館

国指定重要文化財迎賓館の施設・設備・備品の管理運営を適切に実施した。

期間を限定した特別公開において通常非公開である建物内部を公開した。

また、紅葉が楽しめる10月に「秋の特別企画イベント」を開催し、文化財の魅力に触れる機会を提供した。

【特別公開実績】

期 間：5月1日～11月5日
設定日数：100日 (見学実施日数93日)
(前年度設定日数100日・見学実施日数76日)
入館者数：812名 (前年度763名/106.4%)

【実施イベント】

- ・福島県民の日記念イベント
8月21日 入館者数23名
(前年度22名/104.5%)

【特別開催イベント】

- ・秋の特別企画
10月8・15・22日 入館者数71名
(前年度103名/68.9%)



県民の日イベント「夏の昔がたり」

2 天鏡閣軽食販売事業【収益事業】

天鏡閣の売店において、軽食及び土産品を販売し、特に、会津の食材や季節感のある品揃えを意識し、新たに猪苗代産ブルーベリーを使用したジャムやジュースの取扱いを開始し好評を得た。

また、館内においてロイヤルティーや会津産果物を使用したタルトなど季節に合わせたスイーツを提供した。

さらに、好評を得ている明治風ドレス試着体験では、スタンプカードを導入し、利用者の満足度の向上とリピーターの獲得に取り組んだ。

・売上額(税抜) 5,360千円(前年度比135.6%)



館内売店

3 組織体制・財務体質の強化

(1) 組織体制の強化

協会内部の連携強化のため組織変更を実施し、令和5年4月1日より国内誘客と海外誘客の部門統合、ホープツーリズムと教育旅行の部門統合、EC事業の観光物産館への統合を行った。

各事業についてPDCAサイクルにより適切に進行管理を行い、効率的・効果的な運営を図った。

研修等への積極的な参加、職員向け研修の開催等により業務知識の習得やスキルアップに努めた。

【主な研修】

- ・接客研修(協会主催)
- ・リーダー研修(協会主催)
- ・浜通り被災地・原発視察研修(協会主催)
- ・仕入先訪問研修(観光物産館・日本橋ふくしま館)
- ・旅程管理研修
- ・自治研修センター研修
- ・東北観光推進機構主催研修
- ・公益法人協会主催研修

(2) 財務体質の強化

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、免除していた民間事業者の会費について、2分の1の額の徴収を再開した。

業務の安定的な遂行のため、将来の財源不足に備え剰余金の積立を行った。

【主な積立】

- ・人件費等支払準備資金
年度当初の人件費・仕入経費等の運営経費支払に備える積立
- ・ITインフラ整備資金
IT化・デジタル化の環境整備のための積立

IV 評議員会・理事会関係

1 評議員会

(1) **令和5年度第1回評議員会（決議の省略の方法） 令和5年4月1日**

議案第1号 評議員補欠選任の件

議案第2号 理事補欠選任の件

(2) **令和5年度第2回評議員会 令和5年6月26日**

議案第1号 令和4年度決算について

議案第2号 評議員の補欠選任について

議案第3号 任期満了に伴う理事の選任について

議案第4号 任期満了に伴う監事の選任について

報告事項(1) 令和4年度事業報告について

報告事項(2) 令和5年度事業計画・収支予算について

2 理事会

(1) **令和5年度第1回理事会 令和5年6月9日**

議案第1号 令和4年度事業報告について

議案第2号 令和4年度決算について

議案第3号 特定費用準備資金について

議案第4号 令和5年度第2回評議員会の招集について

報告事項 業務執行理事の職務執行状況報告について

(2) **令和5年度第2回理事会（決議の省略の方法） 令和5年6月26日**

議案第1号 理事長選定の件

議案第2号 副理事長選定の件

議案第3号 常務理事選定の件

(3) **令和5年度第3回理事会 令和5年11月21日**

議案第1号 令和5年度事業計画の変更について

議案第2号 令和5年度収支予算の変更について

報告事項(1) 令和5年度上半期事業実績及び今後の取組について

報告事項(2) 業務執行理事の職務執行状況報告について

(4) **令和5年度第4回理事会 令和6年3月27日**

議案第1号 令和5年度収支予算の補正について

議案第2号 特定費用準備資金及び資産取得資金について

議案第3号 令和6年度事業計画について

議案第4号 令和6年度収支予算について

議案第5号 令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて

議案第6号 令和6年度役員報酬について

議案第7号 令和6年度第1回評議員会の招集について

報告事項 業務執行理事の職務執行状況報告について

V 役員等の異動

1 評議員の異動

令和5年4月 1日 選任 吾妻 嘉博
令和5年6月26日 辞任 坂本 新輔、渡部 正弘
選任 菊地 洋、若松 貴司
令和6年3月31日 辞任 吾妻 嘉博

2 理事の異動

令和5年4月 1日 選任 國分 健児、松本 圭司
令和5年6月26日 退任 遠藤 淳一（任期満了）
選任 守岡 文浩、小口 憲太朗、中村 伸裕、國分 健児、
佐藤 洋平、松本 圭司、安田 清敏、遊佐 正広
（以上、任期満了に伴う再任）
畠 ひで子（新任）
令和6年3月31日 辞任 國分 健児

3 監事の異動

令和5年6月26日 退任 佐々木 一男（任期満了）
選任 千葉 純久（任期満了に伴う再任）
小林 真（新任）

附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、附属明細書は作成しない。

貸借対照表（総合）

令和6年3月31日現在

（単位：円）

科 目	当 期	前 期	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	11,327,029	9,473,082	1,853,947
普通預金	124,625,015	106,895,629	17,729,386
売掛金	40,054,461	17,616,536	22,437,925
信販未収金	36,785,481	25,414,985	11,370,496
未収金	234,674,425	122,579,338	112,095,087
商品	29,367,998	27,381,891	1,986,107
食事材料	9,185	219,199	△ 210,014
前払費用	6,498,169	5,918,080	580,089
仮払金	32,500	0	32,500
貸倒引当金	△ 3,115,141	△ 1,656,105	△ 1,459,036
流動資産合計	480,259,122	313,842,635	166,416,487
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	915,225,778	914,846,116	379,662
普通預金	2,374,222	2,753,884	△ 379,662
基本財産合計	917,600,000	917,600,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	8,005,200	8,005,200	0
運営強化積立預金	6,054,000	6,054,000	0
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	54,000,000	56,000,000	△ 2,000,000
人材育成積立資金	20,400,000	23,500,000	△ 3,100,000
公益目的事業財政安定化積立資金	9,000,000	162,000,000	△ 153,000,000
県産品振興事業財政安定化積立資金	74,000,000	70,000,000	4,000,000
施設管理運営事業財政安定化積立資金	55,000,000	35,000,000	20,000,000
風評払拭活動資金	34,400,000	40,000,000	△ 5,600,000
販売管理システム関連費用積立資金	6,480,000	8,100,000	△ 1,620,000
倉庫賃借費用積立資金	2,426,800	3,094,000	△ 667,200
日本橋ふくしま館10周年事業積立資金	2,000,000	3,000,000	△ 1,000,000
物産館公用車購入資金	0	4,000,000	△ 4,000,000
人件費等支払準備資金	158,000,000	0	158,000,000
物産館公用車リース資金	4,000,000	0	4,000,000
ITインフラ整備資金	5,000,000	0	5,000,000
特定資産合計	438,766,000	418,753,200	20,012,800
(3) その他固定資産			
車両運搬具	3	3	0
什器備品	10,164,605	17,420,312	△ 7,255,707
ソフトウェア	6,293,500	8,154,500	△ 1,861,000
電話加入権	298,552	298,552	0
敷金	2,476,000	2,284,000	192,000
保証金	2,200,000	2,200,000	0
出資金	50,000	50,000	0
預託金	13,710	13,710	0
その他固定資産合計	21,496,370	30,421,077	△ 8,924,707
固定資産合計	1,377,862,370	1,366,774,277	11,088,093
資産合計	1,858,121,492	1,680,616,912	177,504,580
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	107,791,239	94,974,801	12,816,438
未払金	200,000	100,000	100,000
未払費用	245,875,407	114,844,187	131,031,220
未払消費税等	12,504,600	6,267,300	6,237,300
前受金	322,837	11,350	311,487
預り金	9,195,041	4,906,622	4,288,419
仮受金	2,020,947	7,768,877	△ 5,747,930
未払法人税等	283,600	242,000	41,600
賞与引当金	19,743,669	18,433,233	1,310,436
流動負債合計	397,937,340	247,548,370	150,388,970

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	増 減
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,005,200	8,005,200	0
固定負債合計	8,005,200	8,005,200	0
負債合計	405,942,540	255,553,570	150,388,970
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	917,600,000	917,600,000	0
指定正味財産合計	917,600,000	917,600,000	0
(うち基本財産への充当額)	(917,600,000)	(917,600,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	534,578,952	507,463,342	27,115,610
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(430,760,800)	(410,748,000)	(20,012,800)
正味財産合計	1,452,178,952	1,425,063,342	27,115,610
負債及び正味財産合計	1,858,121,492	1,680,616,912	177,504,580

貸借対照表内訳表
令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計							収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計	
	観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計		小計				天鏡閣売店
		観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	くろがね小屋	天鏡閣・迎賓館					
I 資産の部												
1. 流動資産												
現金	0	7,612,224	3,359,037	0	0	0	255,968	11,227,229	99,800	0	0	11,327,029
普通預金	27,662,633	9,924,091	29,522,698	22,555,761	1,380,141	7,889,357	564,134	99,498,815	294,826	24,831,374	0	124,625,015
売掛金	0	17,124,406	13,264,536	0	9,637,513	0	7,400	40,033,855	20,606	0	0	40,054,461
信販未収金	0	24,515,963	12,258,978	0	0	0	0	36,774,941	10,540	0	0	36,785,481
未収金	206,832,305	820,272	156,504	26,817,354	21,330	660	0	234,648,425	0	26,000	0	234,674,425
商品	0	16,038,260	10,671,668	655,956	1,338,953	17,728	0	28,722,565	645,433	0	0	29,367,998
食事材料	0	0	0	0	0	9,185	0	9,185	0	0	0	9,185
前払費用	90,860	0	5,536,470	638,029	9,900	24,260	12,850	6,312,369	0	185,800	0	6,498,169
仮払金	0	0	32,500	0	0	0	0	32,500	0	0	0	32,500
貸倒引当金	△ 2,068,323	△ 424,606	△ 256,800	△ 268,173	△ 96,588	△ 6	△ 74	△ 3,114,570	△ 311	△ 260	0	△ 3,115,141
他会計貸付金	170,410,803	0	3,065,783	33,714,338	0	0	0	207,190,924	0	0	△ 207,190,924	0
流動資産合計	402,928,278	75,610,610	77,611,374	84,113,265	12,291,249	7,941,184	840,278	661,336,238	1,070,894	25,042,914	△ 207,190,924	480,259,122
2. 固定資産												
(1)基本財産												
投資有価証券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	915,225,778	0	915,225,778
普通預金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,374,222	0	2,374,222
基本財産合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,600,000	0	917,600,000
(2)特定資産												
退職給付引当資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,005,200	0	8,005,200
運営強化積立預金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,054,000	0	6,054,000
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	0	0	54,000,000	0	0	0	0	54,000,000	0	0	0	54,000,000
人材育成積立資金	20,400,000	0	0	0	0	0	0	20,400,000	0	0	0	20,400,000
公益目的事業財政安定化積立資金	9,000,000	0	0	0	0	0	0	9,000,000	0	0	0	9,000,000
県産品振興事業財政安定化積立資金	0	0	0	0	74,000,000	0	0	74,000,000	0	0	0	74,000,000
施設管理運営事業財政安定化積立資金	0	0	0	0	0	55,000,000	0	55,000,000	0	0	0	55,000,000
風評払拭活動資金	34,400,000	0	0	0	0	0	0	34,400,000	0	0	0	34,400,000
販売管理システム関連費用積立資金	0	6,480,000	0	0	0	0	0	6,480,000	0	0	0	6,480,000
倉庫賃借費用積立資金	2,426,800	0	0	0	0	0	0	2,426,800	0	0	0	2,426,800
日本橋ふくしま館10周年事業積立資金	0	0	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000	0	0	0	2,000,000
人件費等支払準備資金	0	158,000,000	0	0	0	0	0	158,000,000	0	0	0	158,000,000
物産館公用車リース資金	0	4,000,000	0	0	0	0	0	4,000,000	0	0	0	4,000,000
ITインフラ整備資金	5,000,000	0	0	0	0	0	0	5,000,000	0	0	0	5,000,000
特定資産合計	71,226,800	168,480,000	56,000,000	0	74,000,000	55,000,000	0	424,706,800	0	14,059,200	0	438,766,000
(3)その他固定資産												
車両運搬具	0	1	0	0	0	1	1	3	0	0	0	3
什器備品	282,711	5,735,936	4,115,328	0	3	0	0	10,133,978	0	30,627	0	10,164,605
ソフトウェア	0	5,743,500	0	0	0	0	0	5,743,500	0	550,000	0	6,293,500
電話加入権	0	0	0	0	0	0	0	0	0	298,552	0	298,552
敷金	44,000	0	2,432,000	0	0	0	0	2,476,000	0	0	0	2,476,000
保証金	2,200,000	0	0	0	0	0	0	2,200,000	0	0	0	2,200,000
出資金	50,000	0	0	0	0	0	0	50,000	0	0	0	50,000
預託金	0	10,360	0	0	0	3,350	0	13,710	0	0	0	13,710
その他固定資産合計	2,576,711	11,489,797	6,547,328	0	3	3,351	1	20,617,191	0	879,179	0	21,496,370
固定資産合計	73,803,511	179,969,797	62,547,328	0	74,000,003	55,003,351	1	445,323,991	0	932,538,379	0	1,377,862,370
資産合計	476,731,789	255,580,407	140,158,702	84,113,265	86,291,252	62,944,535	840,279	1,106,660,229	1,070,894	957,581,293	△ 207,190,924	1,858,121,492
II 負債の部												
1. 流動負債												
買掛金	0	69,749,773	31,690,056	0	6,351,410	0	0	107,791,239	0	0	0	107,791,239
未払金	0	100,000	100,000	0	0	0	0	200,000	0	0	0	200,000
未払費用	176,836,099	13,123,524	9,367,343	34,495,196	4,009,253	177,268	5,980,639	243,989,322	660	1,885,425	0	245,875,407
未払消費税等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,504,600	0	12,504,600
前受金	311,487	0	11,350	0	0	0	0	322,837	0	0	0	322,837
預り金	2,630,589	2,030,972	1,964,738	252,643	643,617	262,465	370,056	8,155,080	0	1,039,961	0	9,195,041
仮受金	0	1,832,397	188,550	0	0	0	0	2,020,947	0	0	0	2,020,947
未払法人税等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	283,600	0	283,600
賞与引当金	4,451,544	0	0	0	11,368,492	631,529	912,020	17,363,585	0	2,380,084	0	19,743,669
他会計借入金	0	17,335,078	0	0	99,882,598	72,911,902	1,929,734	192,059,312	1,249,189	13,882,423	△ 207,190,924	0
流動負債合計	184,229,719	104,171,744	43,322,037	34,747,839	122,255,370	73,983,164	9,192,449	571,902,322	1,249,849	31,976,093	△ 207,190,924	397,937,340
2. 固定負債												
退職給付引当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,005,200	0	8,005,200
固定負債合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,005,200	0	8,005,200
負債合計	184,229,719	104,171,744	43,322,037	34,747,839	122,255,370	73,983,164	9,192,449	571,902,322	1,249,849	39,981,293	△ 207,190,924	405,942,540

科 目	公益目的事業会計							収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計	
	観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計		小計				天鏡閣売店
		観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	くろがね小屋	天鏡閣・迎賓館					
Ⅲ 正味財産の部												
1. 指定正味財産												
寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,600,000	0	917,600,000
指定正味財産合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,600,000	0	917,600,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(917,600,000)	(0)	(917,600,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	292,502,070	151,408,663	96,836,665	49,365,426	△ 35,964,118	△ 11,038,629	△ 8,352,170	534,757,907	△ 178,955	0	0	534,578,952
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(71,226,800)	(164,480,000)	(56,000,000)	(0)	(78,000,000)	(55,000,000)	(0)	(424,706,800)	(0)	(6,054,000)	(0)	(430,760,800)
正味財産合計	292,502,070	151,408,663	96,836,665	49,365,426	△ 35,964,118	△ 11,038,629	△ 8,352,170	534,757,907	△ 178,955	917,600,000	0	1,452,178,952
負債及び正味財産合計	476,731,789	255,580,407	140,158,702	84,113,265	86,291,252	62,944,535	840,279	1,106,660,229	1,070,894	957,581,293	△ 207,190,924	1,858,121,492

正味財産増減計算書（総合）

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

（単位：円）

科目	当 期	前 期	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	5,307,286	6,016,936	△ 709,650
基本財産運用益計	5,307,286	6,016,936	△ 709,650
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,510	2,006	△ 496
特定資産運用益計	1,510	2,006	△ 496
受取会費			
受取会費	7,569,000	4,219,000	3,350,000
受取会費計	7,569,000	4,219,000	3,350,000
事業収益			
受取受託料収入	655,272,218	2,704,869,870	△ 2,049,597,652
受取物産品売上高	1,592,931,697	1,390,164,658	202,767,039
受取手数料収入	6,552,512	13,710,794	△ 7,158,282
負担金収入	877,268	918,181	△ 40,913
使用料収入	7,435,119	23,255,046	△ 15,819,927
食事料収入	183,929	7,766,727	△ 7,582,798
旅行売上高	47,784,436	45,049,973	2,734,463
受取雑収入	7,956,890	4,664,435	3,292,455
値引・戻り高	△ 14,531,773	△ 17,516,126	2,984,353
事業収益計	2,304,462,296	4,172,883,558	△ 1,868,421,262
受取補助金等			
受取補助金	48,447,000	63,194,817	△ 14,747,817
受取補助金等計	48,447,000	63,194,817	△ 14,747,817
受取寄付金			
受取寄付金	500,000	0	500,000
受取寄付金計	500,000	0	500,000
雑収益			
受取利息	1,540	1,542	△ 2
賞与引当金戻入	17,682,288	17,368,937	313,351
役員賞与引当金戻入	750,945	825,715	△ 74,770
その他雑収益	427,581	618,179	△ 190,598
雑収益計	18,862,354	18,814,373	47,981
経常収益計	2,385,149,446	4,265,130,690	△ 1,879,981,244
(2) 経常費用			
事業費			
期首棚卸高	27,601,090	28,696,693	△ 1,095,603
物産品仕入高	1,268,327,501	1,092,811,817	175,515,684
物産品廃棄損等	4,830,669	3,879,386	951,283
食事材料仕入高	63,632	1,836,770	△ 1,773,138
旅行仕入高	41,364,729	46,597,347	△ 5,232,618
期末棚卸高	29,377,183	27,601,090	1,776,093
給料手当	263,187,286	238,669,447	24,517,839
諸謝金	2,050,032	2,663,710	△ 613,678
貸金	78,779,515	84,027,545	△ 5,248,030
退職給付費用	200,000	100,000	100,000
福利厚生費	57,970,221	52,640,143	5,330,078
退職金共済掛金	3,438,921	2,952,311	486,610
賞与引当金繰入	17,363,585	16,193,273	1,170,312
旅費交通費	14,940,415	13,036,898	1,903,517
通信運搬費	3,800,968	3,843,748	△ 42,780
減価償却費	9,059,829	6,324,597	2,735,232
消耗品費	14,291,031	16,120,852	△ 1,829,821

(単位：円)

科目	当 期	前 期	増 減
修繕費	5,715,254	2,937,021	2,778,233
印刷製本費	13,553,179	14,587,441	△ 1,034,262
燃料費	1,304,318	3,113,261	△ 1,808,943
光熱水料費	21,446,356	21,461,503	△ 15,147
賃借料	87,661,643	87,887,433	△ 225,790
支払手数料	28,905,959	27,395,083	1,510,876
広告宣伝費	35,177,321	28,319,155	6,858,166
租税公課	1,593,602	919,963	673,639
支払負担金	14,901,442	7,710,543	7,190,899
支払助成金	135,037,688	2,099,502,692	△ 1,964,465,004
支払寄付金	110,000	30,000	80,000
委託費	193,316,614	285,230,558	△ 91,913,944
保険料	1,672,986	1,765,075	△ 92,089
受託設備費	5,361,000	0	5,361,000
包装資材費	6,167,375	6,599,985	△ 432,610
交際費	273,833	182,289	91,544
会議費	32,993	55,936	△ 22,943
食糧費	34,130	80,358	△ 46,228
運賃	5,411,948	4,130,784	1,281,164
従業員食事材料費	0	128,864	△ 128,864
研修費	3,106,575	1,544,905	1,561,670
雑損失	108,511	36,185	72,326
貸倒引当金繰入	1,521,896	525,311	996,585
雑費	512,541	438,038	74,503
事業費計	2,340,819,405	4,177,375,830	△ 1,836,556,425
管理費			
役員報酬	12,589,582	12,160,007	429,575
給料手当	2,966,835	2,951,897	14,938
退職給付費用	0	2,066,972	△ 2,066,972
福利厚生費	1,020,116	1,071,385	△ 51,269
退職金共済掛金	92,569	90,479	2,090
賞与引当金繰入	1,587,611	1,489,015	98,596
役員賞与引当金繰入	792,473	750,945	41,528
会議費	8,154	8,302	△ 148
交際費	2,096	0	2,096
旅費交通費	89,315	150,989	△ 61,674
通信運搬費	71,515	95,805	△ 24,290
減価償却費	56,876	62,555	△ 5,679
消耗品費	51,151	82,347	△ 31,196
印刷製本費	11,277	23,575	△ 12,298
燃料費	0	12,032	△ 12,032
光熱水料費	39,638	38,375	1,263
賃借料	549,061	236,895	312,166
広告宣伝費	9,995	2,765	7,230
租税公課	115,501	122,473	△ 6,972
支払負担金	1,621	1,005	616
支払寄付金	10,000	10,000	0
支払手数料	15,352	15,613	△ 261
運賃	5,370	10,676	△ 5,306
研修費	58,546	0	58,546
委託費	62,635	24,432	38,203
貸倒引当金繰入	0	260	△ 260
管理費計	20,207,289	21,478,799	△ 1,271,510
経常費用計	2,361,026,694	4,198,854,629	△ 1,837,827,935
評価損益等調整前当期経常増減額	24,122,752	66,276,061	△ 42,153,309
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	24,122,752	66,276,061	△ 42,153,309

(単位：円)

科目	当 期	前 期	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入	62,860	11,470	51,390
過年度損益修正益	2,913,600	890,500	2,023,100
過年度雑収益	300,000	0	300,000
経常外収益計	3,276,460	901,970	2,374,490
(2) 経常外費用			
固定資産除却損			
固定資産除却損	2	12,193	△ 12,191
経常外費用計	2	12,193	△ 12,191
当期経常外増減額	3,276,458	889,777	2,386,681
税引前当期一般正味財産増減額	27,399,210	67,165,838	△ 39,766,628
法人税、住民税及び事業税	283,600	242,000	41,600
当期一般正味財産増減額	27,115,610	66,923,838	△ 39,808,228
一般正味財産期首残高	507,463,342	440,539,504	66,923,838
一般正味財産期末残高	534,578,952	507,463,342	27,115,610
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	5,307,286	6,016,936	△ 709,650
基本財産運用益計	5,307,286	6,016,936	△ 709,650
特定資産運用益			
特定資産受取利息	0	41	△ 41
特定資産運用益計	0	41	△ 41
一般正味財産への振替額	5,307,286	8,083,949	△ 2,776,663
当期指定正味財産増減額	0	△ 2,066,972	2,066,972
指定正味財産期首残高	917,600,000	919,666,972	△ 2,066,972
指定正味財産期末残高	917,600,000	917,600,000	0
III 正味財産期末残高	1,452,178,952	1,425,063,342	27,115,610

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計							収益事業会計	法人会計	合計	
	観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計		小計			天鏡閣売店
		観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	くろがね小屋	天鏡閣・迎賓館				
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益											
基本財産受取利息	1,231,906	0	0	0	1,231,906	0	0	2,463,812	0	2,843,474	5,307,286
基本財産運用益計	1,231,906	0	0	0	1,231,906	0	0	2,463,812	0	2,843,474	5,307,286
特定資産運用益											
特定資産受取利息	0	0	1,087	0	0	0	0	1,087	0	423	1,510
特定資産運用益計	0	0	1,087	0	0	0	0	1,087	0	423	1,510
受取会費											
受取会費	0	0	0	3,784,500	0	0	0	3,784,500	0	3,784,500	7,569,000
受取会費計	0	0	0	3,784,500	0	0	0	3,784,500	0	3,784,500	7,569,000
事業収益											
受取受託料収入	485,680,779	28,056,000	93,185,435	14,889,285	10,589,091	2,656,300	20,215,328	655,272,218	0	0	655,272,218
受取物産品売上高	0	931,305,200	430,519,499	119,134,057	107,503,943	2,400	0	1,588,465,099	4,466,598	0	1,592,931,697
受取手数料収入	1,062,115	66,474	49,500	5,374,423	0	0	0	6,552,512	0	0	6,552,512
負担金収入	0	0	0	877,268	0	0	0	877,268	0	0	877,268
使用料収入	0	0	0	0	0	0	7,435,119	7,435,119	0	0	7,435,119
食料収入	0	0	0	0	0	183,929	0	183,929	0	0	183,929
旅行売上高	47,784,436	0	0	0	0	0	0	47,784,436	0	0	47,784,436
受取雑収入	8,500	6,579,839	469,260	0	4,917	0	0	7,062,516	894,374	0	7,956,890
値引・戻り高	0	△ 10,845,160	△ 3,208,334	△ 446,529	△ 30,850	△ 900	0	△ 14,531,773	0	0	△ 14,531,773
事業収益計	534,535,830	955,162,353	521,015,360	139,828,504	118,067,101	2,841,729	27,650,447	2,299,101,324	5,360,972	0	2,304,462,296
受取補助金等											
受取補助金	17,451,983	299,739	202,863	80,090	11,751,983	107,139	3,611,526	33,505,323	0	14,941,677	48,447,000
受取補助金等計	17,451,983	299,739	202,863	80,090	11,751,983	107,139	3,611,526	33,505,323	0	14,941,677	48,447,000
受取寄付金											
受取寄付金	0	0	0	0	250,000	0	0	250,000	0	250,000	500,000
受取寄付金計	0	0	0	0	250,000	0	0	250,000	0	250,000	500,000
雑収益											
受取利息	101	718	598	35	0	75	6	1,533	6	1	1,540
賞与引当金戻入	4,284,669	0	0	0	10,381,420	643,819	883,365	16,193,273	0	1,489,015	17,682,288
役員賞与引当金戻入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	750,945	750,945
その他雑収益	104,299	242,949	1,640	0	17,391	14,364	46,938	427,581	0	0	427,581
雑収益計	4,389,069	243,667	2,238	35	10,398,811	658,258	930,309	16,622,387	6	2,239,961	18,862,354
経常収益計	557,608,788	955,705,759	521,221,548	143,693,129	141,699,801	3,607,126	32,192,282	2,355,728,433	5,360,978	24,060,035	2,385,149,446
(2) 経常費用											
事業費											
期首棚卸高	0	15,644,632	10,482,807	0	286,711	229,703	0	26,643,853	957,237	0	27,601,090
物産品仕入高	0	724,828,606	327,430,596	114,014,648	99,816,217	19,200	0	1,266,109,267	2,218,234	0	1,268,327,501
物産品廃棄損等	0	3,452,881	1,370,058	0	0	0	0	4,822,939	7,730	0	4,830,669
食事材料仕入高	0	0	0	0	0	63,632	0	63,632	0	0	63,632
旅行仕入高	41,364,729	0	0	0	0	0	0	41,364,729	0	0	41,364,729
期末棚卸高	0	16,038,260	10,671,668	655,956	1,338,953	26,913	0	28,731,750	645,433	0	29,377,183
給料手当	107,350,383	51,337,955	49,196,632	10,121,205	21,105,388	10,221,730	13,853,993	263,187,286	0	0	263,187,286
諸謝金	1,200,000	0	333,070	234,455	0	0	282,507	2,050,032	0	0	2,050,032
賃金	0	40,418,086	34,611,984	794,070	0	0	2,241,317	78,065,457	714,058	0	78,779,515
退職給付費用	0	100,000	100,000	0	0	0	0	200,000	0	0	200,000
福利厚生費	17,981,344	14,986,075	14,589,202	1,940,207	3,759,472	1,881,898	2,733,017	57,871,215	99,006	0	57,970,221
退職金共済掛金	986,344	828,227	53,901	156,889	1,041,332	176,653	195,575	3,438,921	0	0	3,438,921
賞与引当金繰入	4,451,544	0	0	0	11,368,492	631,529	912,020	17,363,585	0	0	17,363,585
旅費交通費	8,838,690	330,497	1,199,688	3,264,789	1,086,820	85,600	134,331	14,940,415	0	0	14,940,415
通信運搬費	1,193,114	1,199,544	647,970	107,107	244,212	78,842	330,179	3,800,968	0	0	3,800,968
減価償却費	345,629	5,861,934	2,768,825	9,978	49,755	13,347	10,361	9,059,829	0	0	9,059,829
消耗品費	3,831,246	5,106,213	3,885,285	101,919	393,475	268,768	613,853	14,200,759	90,272	0	14,291,031
修繕費	1,500	3,479,722	923,480	570,000	552,500	0	188,052	5,715,254	0	0	5,715,254
印刷製本費	11,792,212	772,492	270,111	1,978	45,928	7,191	663,267	13,553,179	0	0	13,553,179
燃料費	697,815	229,381	0	2,481	0	50,060	305,331	1,285,068	19,250	0	1,304,318
光熱水料費	831,974	10,748,515	7,563,603	20,254	18,931	9,302	2,253,777	21,446,356	0	0	21,446,356
賃借料	13,984,830	7,946,529	64,063,714	455,224	608,723	150,190	452,433	87,661,643	0	0	87,661,643
支払手数料	2,503,168	14,368,483	7,915,224	2,632,820	975,575	208,823	141,392	28,745,485	160,474	0	28,905,959
広告宣伝費	9,282,771	22,590,808	2,851,308	317,265	8,219	2,345	124,605	35,177,321	0	0	35,177,321
租税公課	1,109,474	231,027	159,100	21,700	35,701	6,000	30,600	1,593,602	0	0	1,593,602
支払負担金	8,568,427	99,269	229,313	5,356,849	576,908	10,381	60,295	14,901,442	0	0	14,901,442
支払助成金	130,504,376	0	1,262,861	3,270,451	0	0	0	135,037,688	0	0	135,037,688
支払寄付金	80,000	30,000	0	0	0	0	0	110,000	0	0	110,000
委託費	167,930,372	7,007,513	5,728,298	603,412	2,986,446	29,330	9,031,243	193,316,614	0	0	193,316,614
保険料	1,141,806	306,190	91,010	1,500	0	51,380	76,100	1,667,986	5,000	0	1,672,986
受託設備費	5,361,000	0	0	0	0	0	0	5,361,000	0	0	5,361,000
包装資材費	0	3,605,004	2,470,298	1,500	64,656	0	0	6,141,458	25,917	0	6,167,375
交際費	168,785	0	34,456	22,109	10,000	27,239	11,244	273,833	0	0	273,833
会議費	32,411	0	0	582	0	0	0	32,993	0	0	32,993
食糧費	0	0	0	16,672	0	0	17,458	34,130	0	0	34,130
運賃	1,690,011	209,597	1,841,456	673,698	982,416	12,520	0	5,409,698	2,250	0	5,411,948
研修費	1,435,004	729,268	913,934	0	23,255	5,114	0	3,106,575	0	0	3,106,575
雑損失	50,000	27,178	30,733	600	0	0	0	108,511	0	0	108,511
貸倒引当金繰入	912,296	163,688	140,479	262,139	43,181	0	0	1,521,783	113	0	1,521,896
雑費	202,513	80,001	81,879	81,503	66,645	0	0	512,541	0	0	512,541
事業費計	545,823,768	920,681,055	532,569,607	144,402,048	144,812,005	14,213,864	34,662,950	2,337,165,297	3,654,108	0	2,340,819,405

科目	公益目的事業会計							小計	収益事業会計 天鏡閣売店	法人会計	合計
	観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計					
		観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	くろがね小屋	天鏡閣・迎賓館				
管理費											
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,589,582	12,589,582
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,966,835	2,966,835
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,020,116	1,020,116
退職金共済掛金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92,569	92,569
賞与引当金繰入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,587,611	1,587,611
役員賞与引当金繰入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	792,473	792,473
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,154	8,154
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,096	2,096
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	89,315	89,315
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71,515	71,515
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56,876	56,876
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51,151	51,151
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,277	11,277
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39,638	39,638
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	549,061	549,061
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,995	9,995
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115,501	115,501
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,621	1,621
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,352	15,352
運賃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,370	5,370
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58,546	58,546
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62,635	62,635
管理費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,207,289	20,207,289
経常費用計	545,823,768	920,681,055	532,569,607	144,402,048	144,812,005	14,213,864	34,662,950	2,337,165,297	3,654,108	20,207,289	2,361,026,694
評価損益等調整前当期経常増減額	11,785,020	35,024,704	△ 11,348,059	△ 708,919	△ 3,112,204	△ 10,606,738	△ 2,470,668	18,563,136	1,706,870	3,852,746	24,122,752
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	11,785,020	35,024,704	△ 11,348,059	△ 708,919	△ 3,112,204	△ 10,606,738	△ 2,470,668	18,563,136	1,706,870	3,852,746	24,122,752
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
貸倒引当金戻入	0	38,014	0	0	22,180	2,574	92	62,860	0	0	62,860
過年度損益修正益	1,210,000	0	0	0	0	0	0	1,210,000	0	1,703,600	2,913,600
雑収入	300,000	0	0	0	0	0	0	300,000	0	0	300,000
経常外収益計	1,510,000	38,014	0	0	22,180	2,574	92	1,572,860	0	1,703,600	3,276,460
(2) 経常外費用											
固定資産除却損	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2
経常外費用計	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2
当期経常外増減額	1,510,000	38,012	0	0	22,180	2,574	92	1,572,858	0	1,703,600	3,276,458
他会計振替前当期一般正味財産増減額	13,295,020	35,062,716	△ 11,348,059	△ 708,919	△ 3,090,024	△ 10,604,164	△ 2,470,576	20,135,994	1,706,870	5,556,346	27,399,210
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	837,663	837,663	4,435,083	△ 5,272,746	0
税引前当期一般正味財産増減額	13,295,020	35,062,716	△ 11,348,059	△ 708,919	△ 3,090,024	△ 10,604,164	△ 1,632,913	20,973,657	6,141,953	283,600	27,399,210
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	283,600	283,600
当期一般正味財産増減額	13,295,020	35,062,716	△ 11,348,059	△ 708,919	△ 3,090,024	△ 10,604,164	△ 1,632,913	20,973,657	6,141,953	0	27,115,610
一般正味財産期首残高	279,207,050	116,345,947	108,184,724	50,074,345	△ 32,874,094	△ 434,465	△ 6,719,257	513,784,250	△ 6,320,908	0	507,463,342
一般正味財産期末残高	292,502,070	151,408,663	96,836,665	49,365,426	△ 35,964,118	△ 11,038,629	△ 8,352,170	534,757,907	△ 178,955	0	534,578,952
II 指定正味財産増減の部											
基本財産運用益											
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,307,286	5,307,286
基本財産運用益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,307,286	5,307,286
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,307,286	5,307,286
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,600,000	917,600,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,600,000	917,600,000
III 正味財産期末残高	292,502,070	151,408,663	96,836,665	49,365,426	△ 35,964,118	△ 11,038,629	△ 8,352,170	534,757,907	△ 178,955	917,600,000	1,452,178,952

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

当該事業年度末日において、継続組織の前提に関する疑義は存在しない。

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
①有形固定資産
法人税法の規定に基づく定率法または旧定率法によっている。
ただし、平成19年4月1日以降に取得した建物については定額法によっている。

②無形固定資産
定額法（残価0円）によっている。
- (4) 引当金の計上基準
①貸倒引当金
法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上している。

②賞与引当金
役員及び職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。

③退職給与引当金
平成18年4月1日より職員就業規則を改定し、独立行政法人勤労者退職金共済機構の退職金共済制度に加入している。
改定前の規則に基づく退職金については、自己都合による要支給額を引当金計上している。
- (5) リース資産
通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。
- (6) 消費税等の会計処理
税抜方式を採用している。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	914,846,116	379,662	0	915,225,778
普通預金	2,753,884	0	379,662	2,374,222
小計	917,600,000	379,662	379,662	917,600,000
特定資産				
退職給付引当資産	8,005,200	0	0	8,005,200
運営強化積立預金	6,054,000	0	0	6,054,000
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	56,000,000	0	2,000,000	54,000,000
人材育成積立資金	23,500,000	0	3,100,000	20,400,000
公益目的事業財政安定化積立資金	162,000,000	0	153,000,000	9,000,000
県産品振興事業財政安定化積立資金	70,000,000	20,000,000	16,000,000	74,000,000
施設管理運営事業財政安定化積立資金	35,000,000	35,000,000	15,000,000	55,000,000
風評払拭活動資金	40,000,000	0	5,600,000	34,400,000
販売管理システム関連費用積立資金	8,100,000	0	1,620,000	6,480,000
倉庫賃借費用積立資金	3,094,000	0	667,200	2,426,800
日本橋ふくしま館10周年事業積立資金	3,000,000	0	1,000,000	2,000,000
物産館公用車購入資金	4,000,000	0	4,000,000	0
人件費等支払準備資金	0	158,000,000	0	158,000,000
物産館公用車リース資金	0	4,000,000	0	4,000,000
ITインフラ整備資金	0	5,000,000	0	5,000,000
小計	418,753,200	222,000,000	201,987,200	438,766,000
合計	1,336,353,200	222,379,662	202,366,862	1,356,366,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	915,225,778	(915,225,778)	(0)	(0)
普通預金	2,374,222	(2,374,222)	(0)	(0)
小計	917,600,000	(917,600,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	8,005,200	(0)	(0)	(8,005,200)
運営強化積立預金	6,054,000	(0)	(6,054,000)	(0)
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	54,000,000	(0)	(54,000,000)	(0)
人材育成積立資金	20,400,000	(0)	(20,400,000)	(0)
公益目的事業財政安定化積立資金	9,000,000	(0)	(9,000,000)	(0)
県産品振興事業財政安定化積立資金	74,000,000	(0)	(74,000,000)	(0)
施設管理運営事業財政安定化積立資金	55,000,000	(0)	(55,000,000)	(0)
風評払拭活動資金	34,400,000	(0)	(34,400,000)	(0)
販売管理システム関連費用積立資金	6,480,000	(0)	(6,480,000)	(0)
倉庫賃借費用積立資金	2,426,800	(0)	(2,426,800)	(0)
日本橋ふくしま館10周年事業積立資金	2,000,000	(0)	(2,000,000)	(0)
人件費等支払準備資金	158,000,000	(0)	(158,000,000)	(0)
物産館公用車リース資金	4,000,000	(0)	(4,000,000)	(0)
ITインフラ整備資金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
小計	438,766,000	(0)	(430,760,800)	(8,005,200)
合計	1,356,366,000	(917,600,000)	(430,760,800)	(8,005,200)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

勘定科目名	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	530,000	530,000	0
車両運搬具	3,090,215	3,090,212	3
什器備品	39,479,752	29,315,147	10,164,605
ソフトウェア	13,755,104	7,461,604	6,293,500
合計	56,855,071	40,396,963	16,458,108

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第120回利付国債	205,931,857	222,796,320	16,864,463
第157回利付国債	99,763,075	91,680,000	△ 8,083,075
第178回利付国債	9,968,286	8,693,000	△ 1,275,286
令和3年度第1回福島県公募公債	200,000,000	192,960,000	△ 7,040,000
令和3年度第4回福岡県公募公債	100,000,000	96,300,000	△ 3,700,000
第80回東日本高速道路株式会社債	99,644,929	90,710,000	△ 8,934,929
第172回日本高速道路保有・債務返済機構債券	99,917,631	85,360,000	△ 14,557,631
第277回日本高速道路保有・債務返済機構債券	100,000,000	98,500,000	△ 1,500,000
合計	915,225,778	886,999,320	△ 28,226,458

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
令和5年度(公財)事業等補助金	福島県	0	48,447,000	48,447,000	0	一般正味財産
合計		0	48,447,000	48,447,000	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	5,307,286
合計	5,307,286

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表の注記に記載しているため省略。

2. 引当金の明細
引当金の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	1,656,105	1,521,896	0	62,860	3,115,141
賞与引当金	18,433,233	19,743,669	18,433,233	0	19,743,669
退職給付引当金	8,005,200	0	0	0	8,005,200

※ 貸倒引当金の当期減少額「その他」は、期末洗替えによる戻入額である。

財産目録
令和 6年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	11,327,029
	普通預金	東邦銀行県庁支店他	〃	124,625,015
	売掛金	東武トップツアーズ(株)他	公益目的事業等で販売する県産品売上代他	40,054,461
	信販未収金	(株)寺岡精工他	県産品売上代のクレジット等利用分	36,785,481
	未収金	福島県他	県委託事業に係る受託料未収分他	234,674,425
	商品	観光物産館他	棚卸資産	29,367,998
	食事材料	くろがね小屋	〃	9,185
	前払費用	N X 商事(株)他	4月分家賃他	6,498,169
	仮払金	N I T O H(株)	公舎火災保険料他	32,500
	貸倒引当金	—	貸倒に備えた引当金	△ 3,115,141
流動資産合計				480,259,122
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	みずほ証券他	運用益を公益事業・法人会計の財源として使用	915,225,778
	普通預金	東邦銀行西福島支店	運用益を公益事業・法人会計の財源として使用	2,374,222
				917,600,000
特定資産	退職給付引当預金	東邦銀行西福島支店他	職員の退職給付支出に備えた積立	8,005,200
	運営強化積立預金	東邦銀行西福島支店	運用益を法人会計の財源として使用	6,054,000
	日本橋ふくしま館財政調整積立資金	東邦銀行県庁支店他	日本橋ふくしま館の管理運営のための積立	54,000,000
	人材育成積立資金	東邦銀行県庁支店	人材育成のための積立	20,400,000
	公益目的事業財政安定化積立資金	東邦銀行県庁支店他	公益目的事業のための積立	9,000,000
	県産品振興事業財政安定化積立資金	東邦銀行県庁支店	県産品振興事業のための積立	74,000,000
	施設管理運営事業財政安定化積立資金	東邦銀行県庁支店他	くろがね小屋・天鏡閣の管理運営のための積立	55,000,000
	風評払拭活動資金	東邦銀行県庁支店	風評払拭の活動のための積立	34,400,000
	販売管理システム関連費用積立資金	東邦銀行県庁支店	販売管理システム関連費用のための積立	6,480,000
	倉庫賃借費用積立資金	東邦銀行県庁支店	倉庫賃借のための積立	2,426,800
	日本橋ふくしま館10周年事業積立資金	東邦銀行県庁支店	日本橋ふくしま館の10周年事業のための積立	2,000,000
	人件費等支払準備資金	東邦銀行県庁支店	人件費等の支払いのための積立	158,000,000
	物産館公用車リース資金	東邦銀行県庁支店	物産館の公用車リースのための積立	4,000,000
	ITインフラ整備資金	東邦銀行県庁支店	ITインフラ整備のための積立	5,000,000
				438,766,000
その他固定資産	車両運搬具	公用車他	事業に要する車両等	3
	什器備品	POSターミナル他	事業に要する備品等	10,164,605
	ソフトウェア	販売管理システム他	事業に要するシステム等	6,293,500
	電話加入権	協会事務所	電話加入権利	298,552
	敷金	都圏不動産(株)他	倉庫敷金等	2,476,000
	保証金	全国旅行業協会	旅行事業に係る弁済業務保証金分担金	2,200,000
	出資金	福島県旅行業協同組合	旅行事業に係る組合出資金	50,000
	預託金	自動車リサイクル促進センター	自動車リサイクル預託金	13,710
				21,496,370
固定資産合計				1,377,862,370
資産合計				1,858,121,492
(流動負債)				
	買掛金	(株)三万石他	公益目的事業等で販売する県産品仕入代等	107,791,239
	未払金	職員	退職金	200,000
	未払費用	(株)J T B 他	公益目的事業等に係る支払経費等	245,875,407
	未払消費税等	—	決算において確定した未払消費税	12,504,600
	前受金	日本科学振興協会他	公益目的事業で実施するツアー代金他	322,837
	預り金	職員他	源泉所得税等の預り金	9,195,041
	仮受金	一般顧客他	公益目的事業に係る宅配便代金他	2,020,947
	未払法人税等	—	決算において確定した未払法人税	283,600
	賞与引当金	役職員	役職員の賞与に係る引当金	19,743,669
流動負債合計				397,937,340
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	職員の退職金に係る引当金	8,005,200
固定負債合計				8,005,200
負債合計				405,942,540
正味財産				1,452,178,952